OLYMPUS®

ボイストレック

V-82
V-72
V-62

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こす恐れがあります。取扱説明書にしたがって正しくご使用ください。

商標および登録商標について

- ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。
- SRS WOW XT、SRS と ◉ 記号は SRS Labs,Inc. の商標です。
- SRS WOW XT 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- 日本電気株式会社からのライセンスに基づくノイズキャンセル技術を利用して製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

INDEX

目次

5 本機をパソコンでお使いいただくためには

6 資料

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

 危険

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

 警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

 注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- 清掃する場合、アルコールやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障が生じる恐れがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じる恐れがあります。

<データ消失に関する注意事項>

メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消える恐れがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MO などのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
本製品は故障 , 当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電池について

⚠ 危険

火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

⚠ 警告

直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。
発熱や感電・火災の原因になります。

電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。
発熱や感電・火災の原因になります。

電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れないでください。
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。
- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

電池の液が目に入った場合は失明の恐れがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。

電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。
電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止してください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

火気のある場所に電池を置かないでください。

⚠ 注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

充電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

充電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電池と取り替えてください。

充電式電池の廃棄について

使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕と⊖端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

詳しくは有限責任中間法人 JBRC ホームページ (http://www.jbrc.com) をご覧ください。

Ni-MH

本機について

⚠ 警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば
- 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
- 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。

⚠ 注意

操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

主な特長

- IC レコーダーモードとミュージックプレーヤーモードを搭載 (☞ P.21)。
- 録音した音声は高能率圧縮でデジタル変換し、WMA 形式のファイルとして記録されます (☞ P.25)。また、MP3、WAV 形式のファイルが再生できます (☞ P.30、P.106、P.113)。
- CD レベルと同等の音質で記録できるリニア PCM 形式や、MP3 形式に対応 (V-82 のみ)(☞ P.56)。
- 音声に反応して自動的に録音の開始・停止を行う、音声起動録音 (VCVA) 機能 (☞ P.61) と、ノイズをカットして録音するローカットフィルタ機能 (☞ P.59) を搭載しています。
- ノイズをカットして、音声をクリアに再生できるノイズキャンセル機能 (☞ P.64) と、音声フィルタ機能 (☞ P.66) を搭載しています。
- WMA 形式の録音では、ステレオ録音とモノラル録音、合わせて 6 種類の録音モードを選べます (☞ P.56)。
- フルドット表示のバックライト付きディスプレイ (液晶パネル) を採用しています (☞ P.11)。
- 多彩なリピート機能を搭載しています (☞ P.37、P.74)。
- インデックスマークやテンプマーク機能で、聞きたい場所をすばやく探せます (☞ P.35)。
- 再生スピードをお好みに合わせて調整できます (☞ P.77)。
- 臨場感を高める SRS WOW XT 機能を搭載しています (☞ P.68)。
- 再生イコライザーの切り替えが可能です (☞ P.71)。
- 本機をパソコンの USB ポートに直接接続するだけでパソコンとの連携を行います。USB ケーブルやドライバソフトを使用せずにデータの転送や保存ができます (☞ P.103)。
  本機は USB2.0 に対応しているので、パソコンにデータを高速で転送できます。
- USB ストレージクラス対応なので、パソコンの外部メモリとして、パソコンからデータの保存や読み出しができます (☞ P.117)。
  パソコンと USB 接続し、画像ファイルやテキストなどを保存できるので、データの持ち運びにもご使用いただけます。
- USB 充電機能を搭載しています (☞ P.14)。

各部のなまえ

① **イヤホン**ジャック
② **マイク**ジャック
③ 内蔵ステレオマイク（L）
④ 内蔵ステレオマイク（R）
⑤ 録音表示ランプ
⑥ **リスト**ボタン
⑦ ストラップ取り付け部
⑧ ディスプレイ（液晶パネル）
⑨ 内蔵スピーカ
⑩ **+** ボタン
⑪ **録音**（●）ボタン
⑫ ▶▶I ボタン
⑬ **メニュー**ボタン
⑭ **−** ボタン
⑮ **インデックス**／**消去**ボタン
⑯ OK ▶ ボタン（確定／再生）
⑰ I◀◀ ボタン
⑱ **停止**（■）ボタン
⑲ 電池カバー
⑳ **ホールド**スイッチ
㉑ モードスイッチ（レコーダー／ミュージック）
㉒ USB 端子スライドレバー
㉓ USB 端子

ディスプレイ（液晶パネル）

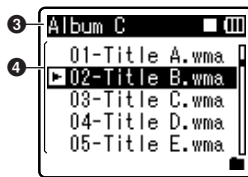
フォルダリスト表示画面

［レコーダー］モード表示画面：

［ミュージック］モード表示画面：

❶［レコーダー］モード表示
録音／再生状態表示
電池表示
❷フォルダ名
❸［ミュージック］モード表示
録音／再生状態表示
電池表示
❹フォルダ名

ファイルリスト表示画面

［レコーダー］モード表示画面：

［ミュージック］モード表示画面：

❶フォルダ名
録音／再生状態表示
電池表示
❷ファイル名
❸フォルダ名
録音／再生状態表示
電池表示
❹ファイル名

ファイル表示画面

［レコーダー］モード表示画面：

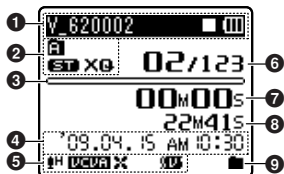
［ミュージック］モード表示画面：

❶ **ファイル名**
録音／再生状態表示
電池表示

❷ **フォルダ表示**
録音モード表示

❸ **録音時：**
メモリ残量バー表示
再生時、停止時：
再生位置バー表示

❹ **録音日時**

❺ **［ ］マイク感度表示**
［VCVA］VCVA 表示
［ ］ノイズキャンセル表示
［ ］音声フィルタ表示
［ ］ローカットフィルタ表示

❻ **ファイル番号／**
フォルダ内の総ファイル数

❼ **録音時：**
録音経過時間
再生時：
再生経過時間

❽ **録音時：**
録音可能な残り時間
再生時、停止時：
ファイルの長さ

❾ **再生モード表示**

❿ **タイトル名**

⓫ **アーティスト名**

⓬ **アルバム名**

⓭ **再生経過時間**

⓮ **［ ］SRS WOW XT 表示**
［JAZZ］イコライザー表示

⓯ **ファイル番号／**
フォルダ内の総ファイル数

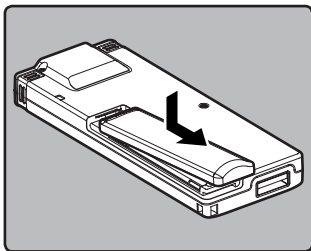
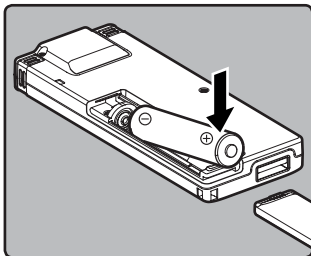
⓰ **ファイルの長さ**

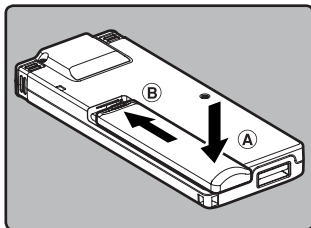
⓱ **再生モード表示**

電源について

電池を入れる

本機は充電池（付属）の他、単4形アルカリ乾電池（市販）を使用できます。

1 電池ぶたを上から軽く押しながら、スライドさせて開ける

2 単4形電池の ⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる

- 本機で充電する場合、必ず付属の専用ニッケル水素充電池（BR401）をご使用ください。
- 付属の充電池は完全に充電されていません。ご使用の前や長期間ご使用にならなかった場合、連続充電のうえ完全に充電することをおすすめします（☞ P.14）。

3 電池カバーを Ⓐ の方向に押さえながら閉じて、Ⓑ の方向にスライドさせ、電池カバーを完全に閉める

- ディスプレイの［**時**］表示が点滅表示する場合、「**日付・時刻を合わせる［Time & Date］**」をご覧ください（☞ P.18）。

電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のようにかわります。

[▮▮▮] ➔ [▮▮] ➔ [▮]

- ディスプレイに［▮］が表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。電池がなくなると、［▭̸］と［**電池残量がありません**］と表示され、動作が停止します。

ご注意

- 本機でマンガン電池はご使用になれません。
- 交換の際は単4形アルカリ乾電池、またはオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用ください。
- 電池の交換は必ず本機を停止状態にしてから行ってください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなるなどの故障が発生する恐れがあります。

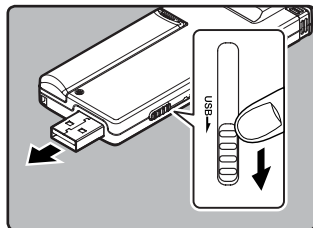
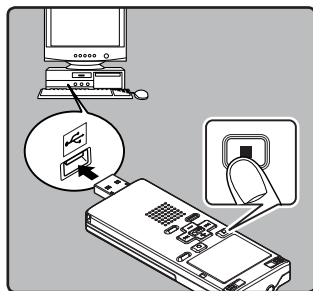
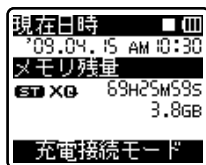
- 本機から電池を抜いた状態が 1 分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、時刻の設定が必要になる場合があります（☞ P.18)。
- 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。
- 内蔵スピーカで再生するとき、電池表示が［▥］であっても音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合、音量を下げてご使用ください。
- 充電池をお買い替えの場合、必ずニッケル水素充電池 BR-401（別売）をご使用ください。他社製品をご使用した場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

パソコンと USB 接続して充電する

パソコンの USB 端子に接続して充電できます。充電をする場合、充電池 (付属）を本体に正しく入れてください (☞ P.13)。

アルカリ電池やリチウム電池などの一次電池を絶対に充電しないでください。
液漏れ、発熱など本機の故障の原因になります。

1 パソコンを起動する

2 USB 端子スライドレバーを矢印の方向へスライドさせ、本機の USB 端子を本体から引き出す

3 停止（■）ボタンを押しながら、パソコンの USB ポートに接続する

- 充電する場合、ディスプレイに［**しばらくお待ちください**］が表示されるまで、**停止**（■）ボタンを押し続けてください。

4 電池表示が［F］になったら充電完了です

充電時間：約 3 時間 *

* 室温で電池残量がない状態から満充電する場合のめやすです。電池の残量や充電の状態などにより変化します。

ご注意

- パソコンの電源が入っていないと充電できません。また、パソコンがスタンバイモード、休止モードおよびスリープモードだと充電できない場合があります。
- USB ハブを使用してパソコンと接続して充電しないでください。
- ［**充電できません**］が表示された場合、充電できない電池が入っています。すぐに付属の充電池に入れ替えてください（☞ P.13）。
- ［C］* または［H］** が点滅している場合、充電できません。周囲の温度が 5 〜 35℃の環境で充電してください。
  - * ［C］：周囲の温度が低い場合
  - ** ［H］：周囲の温度が高い場合
- 満充電しても使用時間が著しく短くなったときは電池の寿命です。新しい電池と取り替えてください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- 必要に応じ、付属の USB 延長ケーブルをご使用ください。
- USB 延長ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用した場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

充電について

ニッケル水素充電池（BR401）を使用の際には下記をよくお読みください。

■ 放電：

充電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用の前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電池は化学製品です。 推奨温度範囲で使用する場合にも充電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0 〜 42℃
充電：5 〜 35℃
長期保管：− 20 〜 30℃

上記の温度範囲外での充電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合は、液漏れ・さびを防ぐために、充電池を取り外して保管してください。

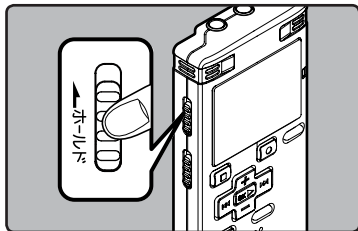
ご注意

- ニッケル水素充電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1 カ月以上）使用していない電池は、充電が完全にされない場合があります。この場合は充放電を 2、3 回くり返してください。
- 充電池は、関係する法令にしたがって処分してください。充電池を完全に放電しないで処分する場合は、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。

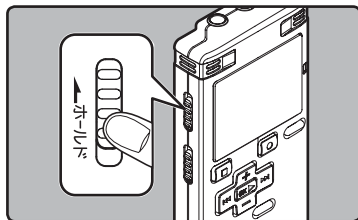
電源を入れる／切る

本機をご使用にならない場合、電源を切ることで、電池の消耗を最小限に抑えられます。電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

電源を入れる

ホールドスイッチを、矢印と反対方向へスライドさせる

• ディスプレイが点灯し電源が入ります。

電源を切る

停止中に**ホールド**スイッチを、矢印の方向へスライドさせる

• ディスプレイが消灯し電源が切れます。
• レジューム機能により電源を切る前の停止位置を記憶して電源が切れます。

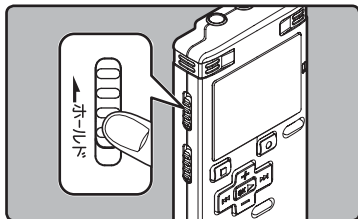
省電力機能について

電源を入れて停止状態のまま 5 分以上経過すると、ディスプレイ表示が消え、省電力モードになります。
• 省電力モードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

誤操作を防止する－ホールド機能

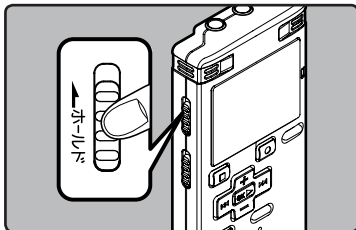
ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びに便利です。

ホールドにする

録音中または再生中にホールドスイッチを、矢印の方向へスライドさせる

• ディスプレイに［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。

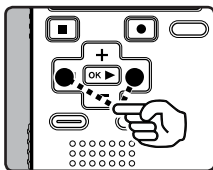
ホールドを解除する

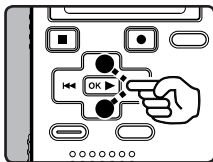
ホールドスイッチを矢印と反対側にスライドさせる

ご注意

• ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、時計表示が2秒間点灯しますが動作しません。
• 再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。

日付・時刻を合わせる［Time & Date］

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ日付・時刻合わせをしてください。

ご購入後初めてご使用になる場合や、長い間ご使用のないあとで電池を入れた場合、［時計を設定してください］と表示されます。「時」表示が点滅したら、手順 1 から設定を行ってください。

1 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ

- 「**時**」「**分**」「**年**」「**月**」「**日**」の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。

2 ＋ または － ボタンを押して設定する

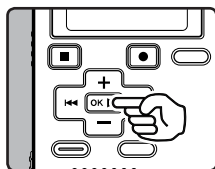
- 以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、＋ または － ボタンを押して設定を行います。

- 時、分の設定中、**リスト**ボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

  例：午後 10 時 38 分の場合
  PM　10時38分 ◀──▶ 22時38分
  （初期設定）

- 年、月、日の設定中、**リスト**ボタンを押すたびに［**年**］［**月**］［**日**］表示の順序が切り替わります。

  例：2009 年 4 月 15 日の場合

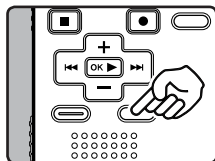
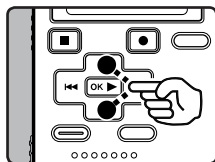
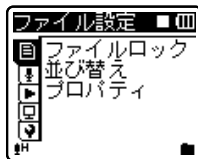
  2009年4月15日 ──▶ 4月15日2009年 ──▶ 15日4月2009年
  （初期設定）
  （15日4月2009年から2009年4月15日に戻る）

3 OK ▶ ボタンを押して設定を完了する

- 設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて **OK** ▶ ボタンを押してください。

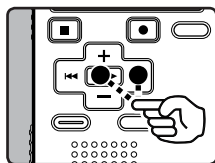
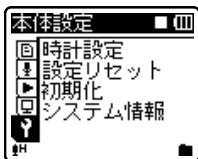
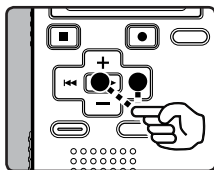
ご注意

- 設定の途中に **OK** ▶ ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。

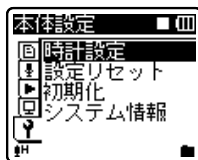
日付・時刻の設定をかえるには

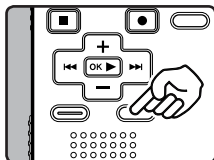
停止中に**停止**（■）ボタンを押し続けると［**現在日時**］や［**メモリ残量**］を確認できます。現在日時が合っていない場合、下記の手順で設定してください。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **+** または **−** ボタンを押して、［**本体設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**本体設定**］画面に入ります。

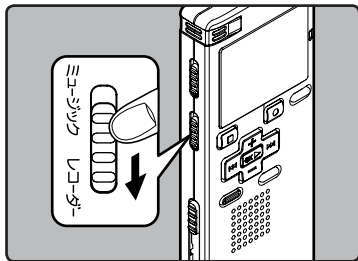
4 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**時計設定**］画面に入ります。
- ［**時**］表示が点滅します。

以下は「**日付・時刻を合わせる［Time & Date］**」の手順 1 から手順 3 の設定と同じです (☞ P.18)。

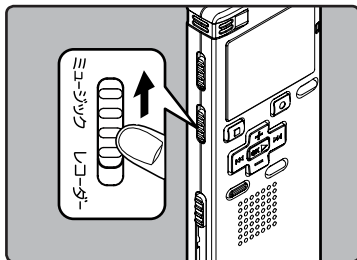
5 **メニュー**ボタン押して、メニュー画面を終了する

[レコーダー] モードと [ミュージック] モード

本機は IC レコーダーとミュージックプレーヤーの 2 種類の機能を備えています。用件を録音・再生するときはモードスイッチを [**レコーダー**] 側にし、音楽を楽しむときは [**ミュージック**] 側にしてください。

[レコーダー] モード

モードスイッチを [レコーダー] 側にする

- IC レコーダーとして機能します。ファイルの保存先は、「**音声録音用フォルダについて**」をご覧ください (☞ P.22)。

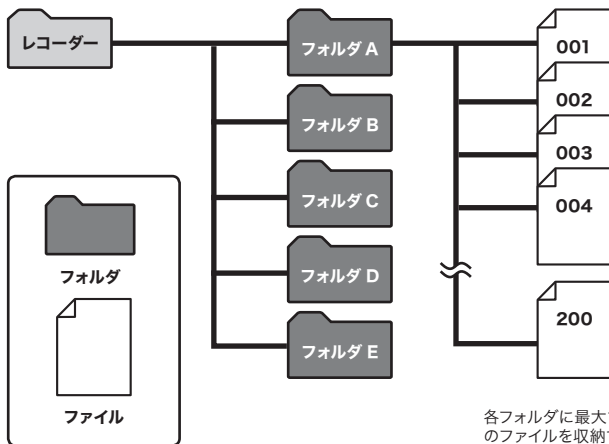
[ミュージック] モード

モードスイッチを [ミュージック] 側にする

- ミュージックプレーヤーとして機能します。Windows Media Player を使用して音楽ファイルを本機に転送したときの、フォルダの階層構造は「**音楽再生用フォルダについて**」をご覧ください (☞ P.23)。

フォルダについて

音声ファイルや音楽ファイルは、ツリー型に構成された音声録音用フォルダや音楽再生用フォルダに振り分けて保存されます。

音声録音用フォルダについて

［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］は音声録音用フォルダで、本機で録音を行う場合、この 5 つのフォルダのいずれかを選んで行ってください。

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名がつけられます。

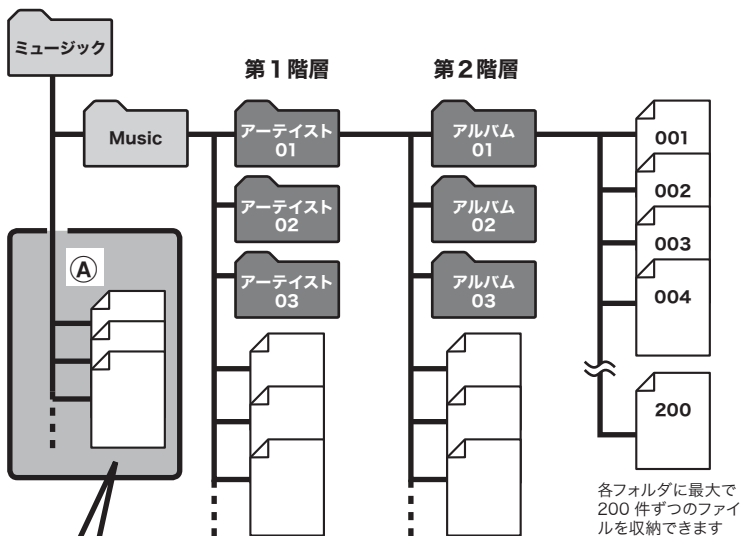
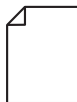
V_62 0001 .WMA
① ② ③

① **ユーザー ID：**
本機に設定されたユーザー ID 名で、お使いのモデル名になります。

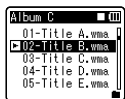
② **ファイル番号：**
本機が自動的につける連続した数字です。

③ **拡張子：**
本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。
- リニア PCM 形式（V-82 のみ） .WAV
- MP3 形式（V-82 のみ） .MP3
- WMA 形式 .WMA になります。

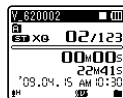
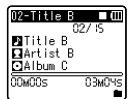
音楽再生用フォルダについて

Windows Media Player を使用して音楽ファイルを本機に転送すると、音楽再生用フォルダ内を下記の図のような階層構造で、フォルダを自動作成します。
同じフォルダ内にある音楽ファイルは、お好みの順番に並び替えて再生できます (☞ P.48)。

フォルダとファイルの選びかた

フォルダの切り替えは停止中または再生中に操作してください。フォルダの階層構造については［**フォルダについて**］をご覧ください（☞ P.22、P.23）。

音楽再生用フォルダの操作：

階層を移動する

リストボタン

戻る

押すごとに1つ上の階層に戻ります。
リスト表示画面では、⏮ ボタンでも操作できます。
フォルダの階層を移動しているときに、**リスト**ボタンを押し続けると、ファイル表示画面に戻ります。

OK ▶ ボタン

進む

押すごとにリスト表示画面で選んだフォルダまたはファイルを開き1つ下の階層に進みます。
リスト表示画面では、⏭ ボタンでも操作できます。

＋ または － ボタン

フォルダやファイルを選びます。

ファイル表示画面

選んだファイルの情報が表示されます。再生待機状態になります。

リスト表示画面

本機に記録されているフォルダとファイルがリスト表示されます。

録音について

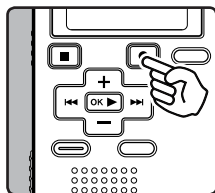
録音する

録音を開始する前に [A] 〜 [E] の音声録音用フォルダを選んでください。[A] フォルダはプライベート用、[B] フォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。

> **!** モードスイッチが [**ミュージック**] 側になっている状態で**録音** (●) ボタンを押すと、[**ミュージックモードです**] が点滅します。モードスイッチを [**レコーダー**] に切り替えてから録音を開始してください (☞ P.21)。

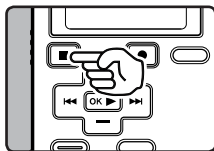
1 録音するフォルダを選ぶ (☞ P.22 〜 P.24)

① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。
② フォルダリスト表示画面で、**+** または **−** ボタンを押して音声録音用フォルダを選びます。

新しく録音した音声は、選んだフォルダの一番後ろのファイルとして保存されます。

2 録音 (●) ボタンを押して、録音を開始する

- 録音表示ランプが点灯し、ディスプレイの [●] が点灯します。
- 録音したい方向に内蔵ステレオマイクを向けます。

ⓐ 録音モード
ⓑ メモリ残量表示バー
ⓒ 録音経過時間
ⓓ 録音可能な残り時間
ⓔ レベルメータ (録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します)

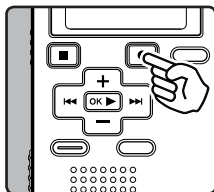
- 録音中は、[**録音モード**] の変更ができません。停止中に設定ください (☞ P.56)。

3 停止（■）ボタンを押して、録音を停止する

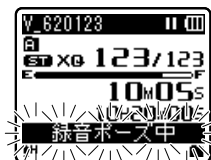
- ディスプレイの［■］が点灯します。

ⓕ ファイルの長さ

ご注意

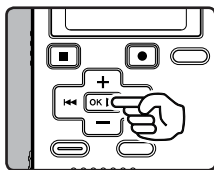
- 頭切れを防ぐために、録音表示ランプの点灯を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると、録音表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.39）。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、メモリがいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.39）。

一時停止するには

録音中に録音（●）ボタンを押す。

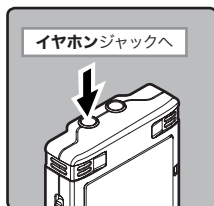
- ディスプレイの［❚❚］が点灯します。
- 録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

録音を再開するには：

録音（●）ボタンをもう一度押す。

- 一時停止したところから録音を再開します。

録音内容をすばやく確認するには

録音中に OK ▶ ボタンを押す。

- ディスプレイの［▶］が点灯します。
- 録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

録音中の音声を聞くには（録音モニター）

イヤホンを本機の**イヤホン**ジャックに差し込むと、録音中の音声を聞けます。録音モニターの音量は **+** または **−** ボタンを使用して調節できます。

本機のイヤホンジャックにイヤホンを接続する。

- 録音を開始すると録音中の音声をイヤホンで聞けます。

ご注意

- 音量を変えても録音レベルは変化しません。
- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。

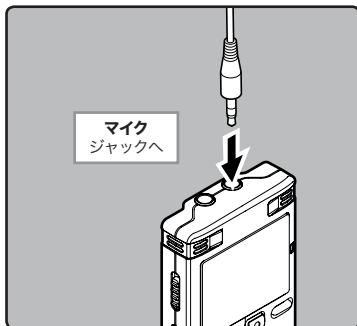
録音状況ごとの推奨設定

ご購入後すぐに高音質ステレオ録音ができるように［**ステレオ XQ**］モードが設定されています。録音状況に応じて、録音モードに関する各種機能を詳細に設定することもできます。下記の表は録音状況を例にした録音設定のめやすです。

録音状況	推奨設定		
	録音モード（☞ P.56）	**マイク感度（☞ P.54）**	**ローカットフィルタ（☞ P.59）**
大人数での会議、広い教室での講義などの録音	［**ステレオ XQ**］	［**会議**］	［**ON**］
少人数での会議、打ち合わせ、商談などの録音	［**ステレオ XQ**］ ［**ステレオ HQ**］ ［**ステレオ SP**］		
ノイズが多い中での口述録音	［**ステレオ XQ**］ ［**ステレオ HQ**］ ［**HQ**］	［**口述**］	
楽器演奏、野鳥の声、鉄道の音などの録音	［**ステレオ XQ**］	録音する状況に合わせて、マイク感度を切り替えてください	［**OFF**］
静かな環境での口述録音	どのような設定でもご使用いただけます お好みの設定で録音してください		

外部マイクや他の機器から録音する

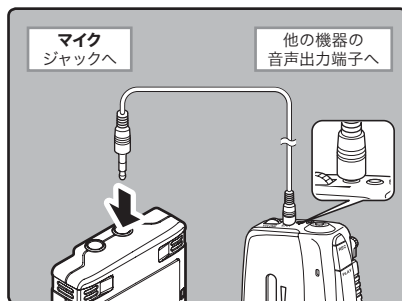
外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。ご使用の機器により、次のように接続してください。本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。

外部マイクで録音する

本機の**マイク**ジャックに外部マイクを接続する

ご使用いただける外部マイク（別売）（☞ P.121）
ステレオマイクロホン：ME51SW 大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。
2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。
モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W 周囲の雑音の影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。
モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15 タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。
モノラルテレホンピックアップ：TP7 イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

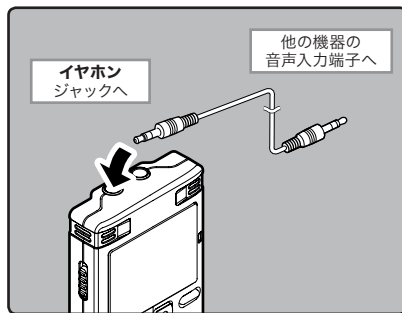
ご注意

- 本機の**マイク**ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。
- ［**録音モード**］をステレオ形式に設定した場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとＬチャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.56）。
- ［**録音モード**］をモノラル形式に設定した場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとＬチャンネルマイクのみの録音となります（☞ P.56）。

他の機器の音声を本機で録音する

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の**マイク**ジャックをダビング用コネクティングコードKA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

ご注意

- 本機では細かい入力レベルの調整はできません。外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の**イヤホン**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

ご注意

- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、**イヤホン**ジャックから出力される音声出力信号も変化します（☞ P.64、P.66、P.68、P.71）。

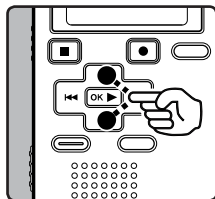
再生する

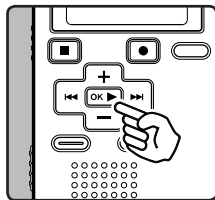
本機で録音したファイルの他、パソコンから転送した WAV、MP3、WMA 形式のファイルを再生できます。

> パソコンから転送したファイルを再生する場合、転送先のフォルダに応じてモードスイッチを切り替えてください。本機で録音したファイルを再生する場合、[**レコーダー**] 側にします (☞ P.21)。

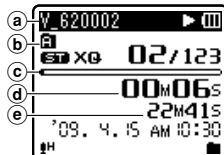
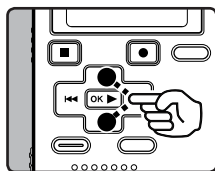
1 再生するファイルが収録されているフォルダを選ぶ (☞ P.22 ~ P.24)

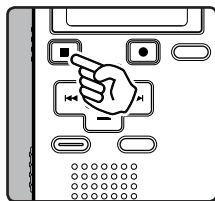
フォルダの切り替えかた：

① 停止中または再生中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。
② フォルダリスト表示画面で、**+** または **−** ボタンを押して音声録音用フォルダまたは音楽再生用フォルダを選び、**OK ▶** または **▶▶I** ボタンを押します。

2 ファイルリスト表示画面で **+** または **−** ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

- ファイル表示画面では **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して、ファイルを選んでください。

3 OK ▶ ボタンを押して、再生を開始する

- ディスプレイの［▶］が点灯します。

ⓐ ファイル名
ⓑ フォルダ表示
ⓒ 再生位置バー表示
ⓓ 再生経過時間
ⓔ ファイルの長さ

4 + または – ボタンを押して、聞きやすい音量にする

- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

5 停止（■）ボタンを押して再生を停止する

- ディスプレイの［■］が点灯します。
- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

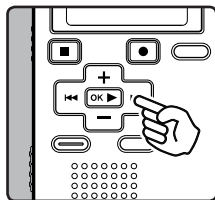
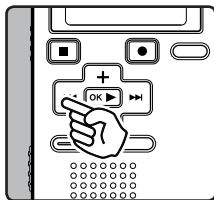
早送りをするには

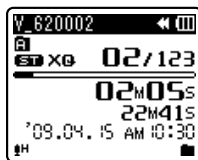
ファイル表示画面で停止中に、▶▶I ボタンを押し続ける。

- ディスプレイの［▶▶］が点灯します。
- ▶▶I ボタンから手を離すと停止します。**OK** ▶ ボタンを押すと、その位置から再生します。

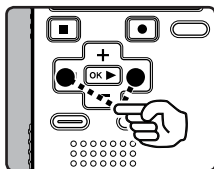
再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

- ▶▶I ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.35）。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには

ファイル表示画面で停止中に、⏮ ボタンを押し続ける。

- ディスプレイの [◀◀] が点灯します。
- ⏮ ボタンから手を離すと停止します。OK ▶ ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に ⏮ ボタンを押し続ける。

- ⏮ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します (☞ P.35)。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに ⏮ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには

停止中または再生中に ⏭ ボタンを押す。

- 次のファイルの頭出しをします。

再生中に ⏮ ボタンを押す。

- 再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に ⏮ ボタンを押す。

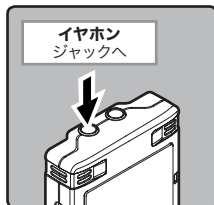
- 1 つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

再生中に ⏮ ボタンを 2 回押す。

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意

- 再生中に頭出しをした場合、ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します。ただし、停止中に頭出しをした場合、インデックスマークやテンプマークの位置は飛び越されます(☞ P.35)。
- 再生中に頭出しをしたときに、[**スキップ間隔**] が [**ファイルスキップ**] 以外に設定されている場合、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します (☞ P.80)。

イヤホンで聞くには

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続して聞けます。

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

再生に関する設定

部分リピート（☞ P.37）	再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます
［**並び替え**］（☞ P.48）	選んでいるフォルダ内のファイルを並び替えます。通常の再生モードで好きな順番で再生する場合などに便利です
［**ノイズキャンセル**］*1（☞ P.64）	録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください
［**音声フィルタ**］*1（☞ P.66）	再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています
［**WOW**］*2（☞ P.68）	サラウンド効果（SRS 3D）とバス効果（TruBass）をそれぞれ調整できます
［**イコライザー**］*2（☞ P.71）	お好みの音質で音楽を楽しめます
［**再生モード**］*3（☞ P.74）	お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます
［**再生スピード**］（☞ P.77）	会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください
［**スキップ間隔**］（☞ P.80）	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です

*1［**レコーダー**］モードのときのみ操作できます。
*2［**ミュージック**］モードのときのみ操作できます。
*3［**レコーダー**］モードと［**ミュージック**］モードでは、操作できる内容は異なります。

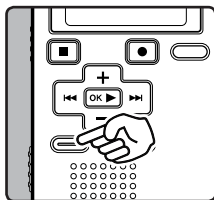
音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートやビット数、ビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは下記のとおりになります。

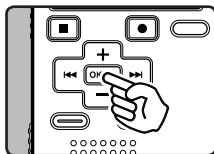
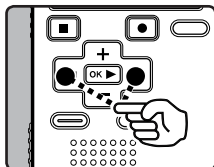
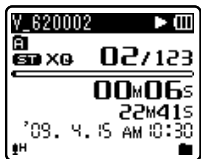
ファイル形式	サンプリングレート	ビット数およびビットレート
WAV 形式	44.1 kHz	16 bit
MP3 形式	**MPEG1 Layer3**： 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**： 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA 形式	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。
- 本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

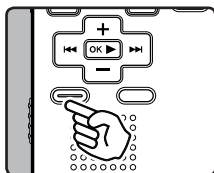
インデックスマーク・テンプマークをつける

インデックスマークやテンプマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。MP3 ファイルやオリンパス製 IC レコーダー以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。

1 録音中または再生中に**インデックス / 消去**ボタンを押す

- ディスプレイに番号が表示されインデックスマークまたはテンプマークがつきます。
- インデックス・テンプマークをつけたあとも録音または再生は続きますので、同様の操作で他の場所にインデックス・テンプマークをつけることができます。

インデックスマーク・テンプマークを消去する

1 消去したインデックスマークまたはテンプマークのあるファイルを再生する

2 ►►I または I◄◄ ボタンを押して、消去したいインデックスマークまたはテンプマークを選ぶ

3

インデックスマーク・テンプマークをつける

3 ディスプレイにインデックス番号またはテンプ番号が表示されている間（約 2 秒間）に**インデックス / 消去**ボタンを押す

- インデックスマークまたはテンプマークが消去されます。
- 消去したインデックス・テンプマーク以降のインデックス・テンプ番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- テンプマークは一時的なマーキングなので、他のファイルへの移動、リスト表示画面への切り替え、パソコンとの接続などを行うと自動的に消去されます。
- インデックスやテンプマークは 1 つのファイル内に最大で 16 件までつけることができます。16 件を超えてインデックスやテンプマークをつけようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。
- 消去ロックをかけてあるファイルは、インデックスやテンプマークをつけたり消去することができません（☞ P.46）。

部分リピート再生のしかた

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。

1 部分リピートしたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ（☞ P.22 ～ P.24）

フォルダの切り替えかた：

① 停止中または再生中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。

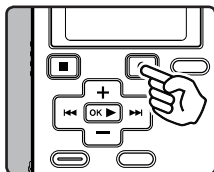
② フォルダリスト表示画面で、**+** または **–** ボタンを押して音声録音用フォルダまたは音楽再生用フォルダを選び、**OK**▶ または ▶▶I ボタンを押します。

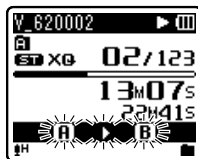
2 ファイルリスト表示画面で **+** または **–** ボタンを押して、ファイルを選ぶ

- ファイル表示画面では ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して、ファイルを選んでください。

3 OK ▶ ボタンを押して、再生を開始する

4 部分リピート再生の開始位置で、録音（●）ボタンを押す

- ディスプレイの［A］が点滅します。
- この［A］の点滅中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替え（☞ P.79）や、早送り・早戻し（☞ P.31、P.32）が行え、終了位置まで早く進められます。
- ［A］の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

5 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度**録音**（●）ボタンを押す

- 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

ご注意

- 部分リピート再生中も通常再生と同じように、再生スピードをかえることができます（☞ P.79）。また部分リピート再生中にインデックスマークやテンプマークの挿入・消去をした場合、部分リピート再生が解除され通常の再生に戻ります（☞ P.35）。

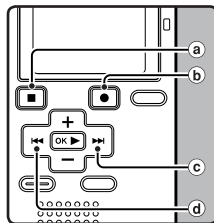
部分リピート再生を解除する

下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

ⓐ **停止（■）ボタンを押す。**
停止（■）ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

ⓑ **録音（●）ボタンを押す。**
録音（●）ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、そのまま再生が継続します。

ⓒ **▶▶I ボタンを押す。**
▶▶I ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

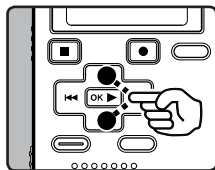
ⓓ **I◀◀ ボタンを押す。**
I◀◀ ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

消去する

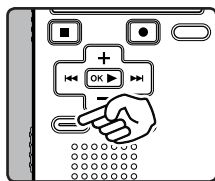
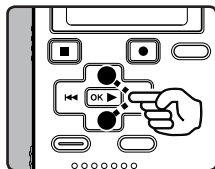
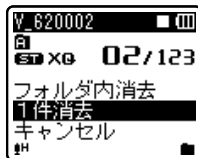
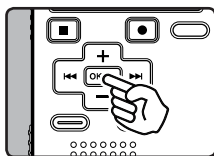
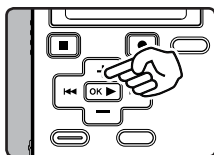
フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

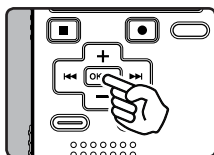
1 消去したいファイルまたはフォルダを選ぶ (☞ P.22 ～ P.24)

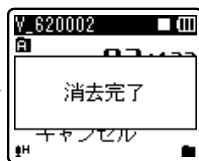
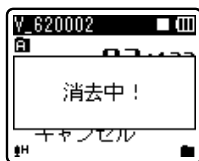
フォルダの切り替えかた：

① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。

② フォルダリスト表示画面で、**+** または **−** ボタンを押して音声録音用フォルダまたは音楽再生用フォルダを選び、**OK** ▶ または ▶▶| ボタンを押します。

2 ファイルリスト表示画面で **+** または **−** ボタンを押して、削除したいファイルを選ぶ

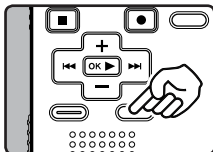
- ファイル表示画面では ▶▶| または |◀◀ ボタンを押して、ファイルを選んでください。

3 停止中に **インデックス / 消去** ボタンを押す

4 **+** または **−** ボタンを押して、［**フォルダ内消去**］または［**1件消去**］を選ぶ

5 OK ▶ ボタンを押す

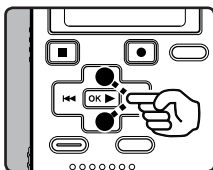
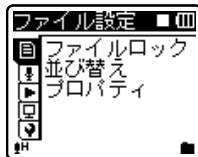
6 **+ ボタンを押して、[開始] を選ぶ**

7 OK ▶ ボタンを押す

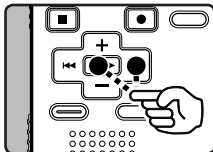
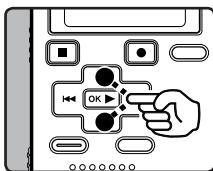
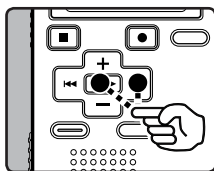
- ディスプレイが [**消去中**] にかわり、消去を開始します。[**消去完了**] と表示されたら終了です。

ご注意

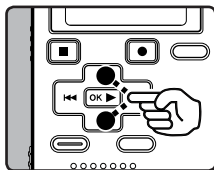
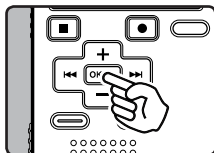
- 消去ロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません (☞ P.46)。
- 選択画面で 8 秒間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- 処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
  また、処理中に電池が切れることのないように、あらかじめ新しい電池に交換してください。
- 本機が [**ミュージック**] モードの場合、[**Music**] 以外のフォルダを消去できます。ただし、本機が [**レコーダー**] モードの場合、フォルダは削除できません。

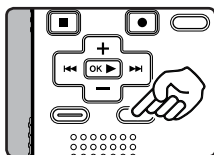
メニュー設定のしかた

メニュー内の各項目はタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

1 録音中、再生中または停止中にメニューボタンを押す

- メニュー画面に入ります。
- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください(☞ P.43 ～ P.45)。

2 + または − ボタンを押して、設定したい項目のあるタブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動せる

4 + または − ボタンを押して、設定項目を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- 選んだ項目の設定に移動します。

6 ＋ または － ボタンを押して、設定を変更する

7 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
- **OK ▶** ボタンを押さずに **I◀◀** ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

8 メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する

- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、**I◀◀** または**メニュー**ボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく再生画面に戻れます。

ご注意

- 設定中に 3 分間何も操作しないと、停止状態に戻ります。この場合、選択途中の項目は設定されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8 秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

メニューの一覧

■ ファイルに関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
ファイル設定 [File Menu)	**ファイルロック** [Erase Lock] ☞ P.46	[**ON**] [**OFF**]
	並び替え [Replace] ☞ P.48	フォルダ内のファイルを並び換えて再生順序を変更できます
	プロパティ [Property] ☞ P.50	ファイルを選んだ場合： [**名前**] [**日時**] [**サイズ**] [**ビットレート**] [**アーティスト**] * [**アルバム**] * フォルダを選んだ場合： [**名前**] [**フォルダ数**] * [**ファイル数**]

* [**ミュージック**] モードのときのみ表示されます。

■ 録音に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
録音設定 [Rec Mode]	**マイク感度** [Mic Sense] ☞ P.54	[**会議**] [**口述**]
	録音モード [Rec Mode] ☞ P.56	[**PCM**] * [**MP3**] * [**WMA**] 録音形式ごとに録音レートを設定できます。
	ローカットフィルタ [Low Cut Filter] ☞ P.59	[**ON**] [**OFF**]
	VCVA [VCVA] ☞ P.61	[**ON**] [**OFF**]

* V-82 のみ

■ 再生に関するメニュー設定：[レコーダー] モードの場合

設定タブ	設定項目	選択肢
再生設定 [Play Menu]	**ノイズキャンセル** [Noise Cancel] ☞ P.64	[**HIGH**] [**LOW**] [**OFF**]
	音声フィルタ [Voice Filter] ☞ P.66	[**ON**] [**OFF**]
	再生モード [Play Mode] ☞ P.74	[**ファイル**] [**フォルダ**]
	再生スピード [Play Speed] ☞ P.77	[**遅聞き再生**]： [**0.875 倍速**] [**0.75 倍速**] [**0.625 倍速**] [**0.5 倍速**] [**早聞き再生**]： [**2.0 倍速**]] [**1.5 倍速**] [**1.375 倍速**] [**1.25 倍速**] [**1.125 倍速**]

設定タブ	設定項目	選択肢
再生設定 [Play Menu]	**スキップ間隔** [Skip Space] ☞ P.80	[**スキップ**]： [**ファイルスキップ**] [**10 秒**][**30 秒**] [**1 分**][**5 分**][**10 分**] [**逆スキップ**]： [**ファイルスキップ**] [**1 秒**]～[**5 秒**] [**10 秒**][**30 秒**][**1 分**] [**5 分**][**10 分**]

■ 再生に関するメニュー設定：[ミュージック] モードの場合

設定タブ	設定項目	選択肢
再生設定 [Play Menu]	**WOW** [WOW] ☞ P.68	[**SRS 3D**]： [**HIGH**][**MIDDLE**][**LOW**] [**OFF**] [**TruBass**]： [**HIGH**][**MIDDLE**][**LOW**] [**OFF**]
	イコライザー [Equalizer] ☞ P.71	[**OFF**][**ROCK**][**POP**][**JAZZ**] [**USER**]
	再生モード [Play Mode] ☞ P.74	[**再生範囲**]： [**ファイル**][**フォルダ**] [**全ファイル**] [**リピート**]： [**ON**][**OFF**] [**ランダム**]： [**ON**][**OFF**]
	再生スピード [Play Speed] ☞ P.77	[**遅聞き再生**]を選んだ場合： [**0.875 倍速**][**0.75 倍速**] [**0.625 倍速**][**0.5 倍速**] [**早聞き再生**]を選んだ場合： [**2.0 倍速**][**1.5 倍速**] [**1.375 倍速**][**1.25 倍速**] [**1.125 倍速**]
	スキップ間隔 [Skip Space] ☞ P.80	[**スキップ**]を選んだ場合： [**ファイルスキップ**] [**10 秒**][**30 秒**] [**1 分**][**5 分**][**10 分**] [**逆スキップ**]を選んだ場合： [**ファイルスキップ**] [**1 秒**]～[**5 秒**] [**10 秒**][**30 秒**][**1 分**] [**5 分**][**10 分**]

■ ディスプレイや音に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
表示／音設定 [LCD/Sound Menu]	**バックライト** [Backlight] ☞ P.83	[**点灯時間**]：[**OFF**] [**5 秒**] [**10 秒**] [**30 秒**] [**1 分**] [**輝度設定**]：[**HIGH**] [**LOW**]
	コントラスト [Contrast] ☞ P.85	[**01**] 〜 [**06**] 〜 [**12**]
	LED [LED] ☞ P.87	[**ON**] [**OFF**]
	ビープ音 [Beep] ☞ P.89	[**ON**] [**OFF**]
	言語選択 (Lang) [Language(Lang)] ☞ P.91	[**日本語**] [**English**]

■ 本機に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
本体設定 [Device Menu]	**時計設定** [Time & Date] ☞ P.18	[**時**] [**分**] [**年**] [**月**] [**日**]
	設定リセット [Reset Settings] ☞ P.93	メニュー設定を初期設定に戻します
	初期化 [Format] ☞ P.96	内蔵メモリを初期化します
	システム情報 [System Info.] ☞ P.99	[**モデル**] [**容量**] [**バージョン**] [**シリアル番号**]

■ 録音メニュー設定：

設定項目	選択肢
マイク感度	**メニュー項目の選択肢へ**
ローカットフィルタ	
VCVA	
バックライト	
LED	

■ 再生メニュー設定：

設定項目	選択肢
プロパティ	**メニュー項目の選択肢へ**
ノイズキャンセル *1	
音声フィルタ *1	
WOW *2	
イコライザー *2	
再生モード	
再生スピード	
スキップ間隔	
バックライト	
LED	

*1 [**レコーダー**] モードのときのみ操作できます。
*2 [**ミュージック**] モードのときのみ操作できます。

誤消去を防止する［Erase Lock］

ファイルに消去ロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません (☞ P.39)。

1 消去ロックをかけたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ（☞ P.22 ～ P.24）

フォルダの切り替えかた：

① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。

② フォルダリスト表示画面で、**+** または **−** ボタンを押して音声録音用フォルダまたは音楽再生用フォルダを選び、**OK ▶** または **▶▶I** ボタンを押します。

2 ファイルリスト表示画面で **+** または **−** ボタンを押して、消去ロックしたいファイルを選ぶ

- ファイル表示画面では **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して、ファイルを選んでください。

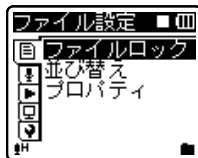
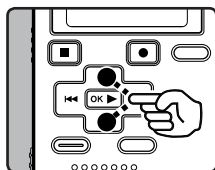
3 停止中に**メニュー**ボタンを押す

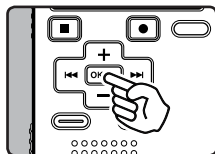
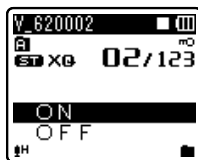
- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

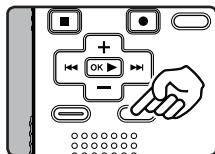
4 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**ファイル設定**］画面に入ります。

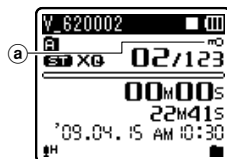
5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**ファイルロック**］画面に入ります。

6 ＋ または － ボタンを押して、設定を変更する

［**ON**］：消去ロックがかかります。
［**OFF**］：消去ロックが解除されます。

7 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

8 メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。
ⓐ 消去ロック表示

ファイルリスト表示画面

ファイル表示画面

曲順の並び替えをする［Replace］

フォルダ内にあるファイルの再生順を変更できます。あらかじめ再生順を変更したいフォルダ（ファイル）を選んでください。

1 曲順を入れ替えたいフォルダを選ぶ(☞ P.22 ～ P.24)

フォルダの切り替えかた：

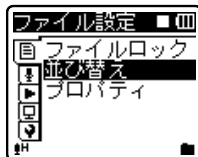
① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。
② フォルダリスト表示画面で、**+** または **−** ボタンを押して音声録音用フォルダまたは音楽再生用フォルダを選び、**OK ▶** または **▶▶I** ボタンを押します。

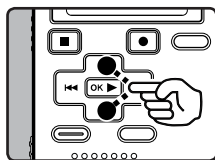
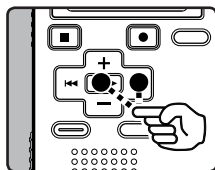
2 停止中に**メニュー**ボタンを押す

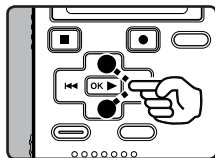
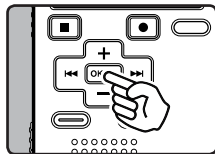
- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

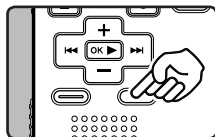
- ［**ファイル設定**］画面に入ります。

4 + または − ボタンを押して、［並び替え］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- 手順 1 で選んだフォルダ内のファイルがリスト表示されます。

6 **+ または − ボタンを押して、移動したいファイルを選ぶ**

7 OK ▶ **または ▶▶I ボタンを押す**

- カーソルが点滅表示し移動対象ファイルとして確定します。
- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

8 **+ または − ボタンを押して、移動したい場所を選ぶ**

9 OK ▶ **ボタンを押して、移動を完了する**

- 引き続き並び替えたいファイルがある場合、再度手順５〜手順８の操作を行ってください。

- **OK** ▶ ボタンを押さずに I◀◀ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、１つ前の画面に戻ります。

10 **メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する**

ファイルやフォルダの情報を見る[Property]

メニュー画面からファイルやフォルダの情報を確認できます。

ファイルの情報を見る

1 情報を表示したいファイルが収録されているフォルダを選ぶ（☞ P.22 ～ P.24）

フォルダの切り替えかた：

① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。

② フォルダリスト表示画面で、**+** または **−** ボタンを押して音声録音用フォルダまたは音楽再生用フォルダを選び、**OK ▶** または **▶▶I** ボタンを押します。

2 ファイルリスト表示画面で **+** または **−** ボタンを押して、情報を見たいファイルを選ぶ

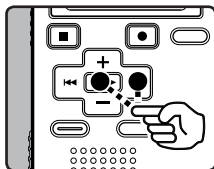
- ファイル表示画面では **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して、ファイルを選んでください。

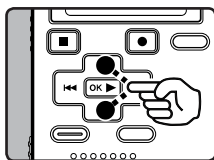
3 停止中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

4 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

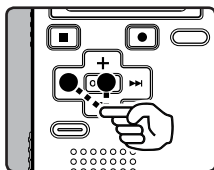
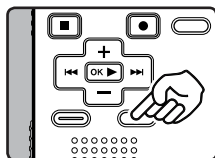
- ［**ファイル設定**］画面に入ります。

5 **+** または **−** ボタンを押して、［**プロパティ**］を選ぶ

6 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**プロパティ**］画面に入ります。

7 **+** または **−** ボタンを押して、画面を切り替える

- ［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ビットレート**］*1［**アーティスト**］*2［**アルバム**］*2 が表示されます。

*1 リニア PCM 形式のファイルを選んだ場合、［**ビットレート**］部にサンプリング周波数やビット数を表示します。

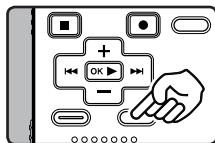
*2 タグ情報がファイルに無い場合、この部分の表示内容は空白になります。また、［**レコーダー**］モードの場合、［**アーティスト**］部や［**アルバム**］部は表示されません。

8 情報を確認したら OK ▶ または I◀◀ ボタンを押して、［**プロパティ**］画面から出る

9 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を終了する

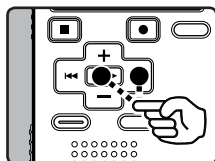
フォルダの情報を見る

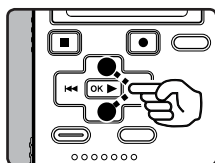
1 情報を表示したいフォルダを選ぶ（☞ P.22 ～ P.24）

フォルダの切り替えかた：

① 停止中にファイル表示画面で、**リスト**ボタンを押すと階層が 1 つ上に戻ります。**リスト**ボタンを繰り返し押して、フォルダリスト表示画面へ入ります。

② フォルダリスト表示画面で、**+** または **−** ボタンを押して音声録音用フォルダまたは音楽再生用フォルダを選びます。

2 停止中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

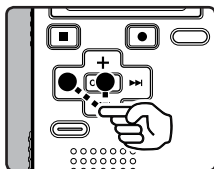
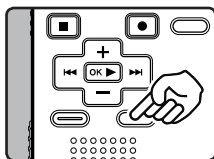
- ［**ファイル設定**］画面に入ります。

4 **+** または **−** ボタンを押して、［**プロパティ**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

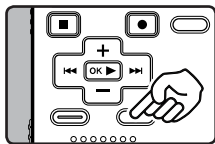
- ［**プロパティ**］画面に入ります。

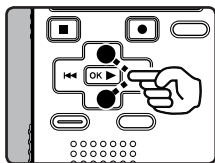
6 ＋または－ボタンを押して、画面を切り替える

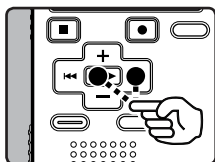
プロパティ
■名前
フォルダA
■ファイル数
123

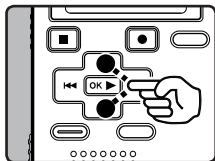
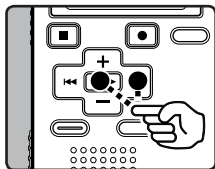
- ［**名前**］［**フォルダ数**］［**ファイル数**］が表示されます。
- ［**レコーダー**］モードの場合、［**フォルダ数**］部は表示されません。
- 本機で認識できない形式のファイルについては、ファイル数に含みません。

7 情報を確認したら OK ▶ または I◀◀ ボタンを押して、［プロパティ］画面から出る

8 メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する

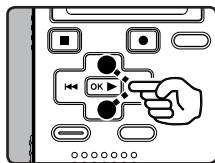
マイク感度の設定［Mic Sense］

使用目的に合わせて内蔵ステレオマイクの感度が切り替えられます。

1 停止中または録音中に**メニュー**ボタンを押す

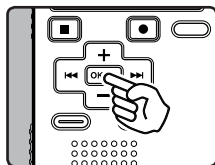
- モードスイッチを［**レコーダー**］側にしてください。［**ミュージック**］側の場合、操作できません（☞ P.21）。
- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 ＋または－ボタンを押して、［**録音設定**］タブを選ぶ

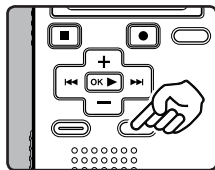
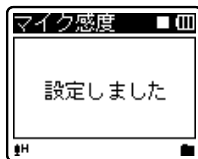
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**録音設定**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して、［**マイク感度**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**マイク感度**］画面に入ります。

6 **＋ または － ボタンを押して、［会議］または［口述］を選ぶ**

［**会議**］：
周囲の音も録音できる高感度モードです。

［**口述**］：
口述録音に適した通常感度モードです。

7 **OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する**

• **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

8 **メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する**

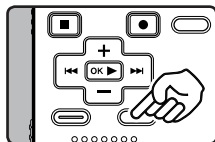
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

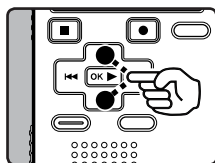
ⓐ マイク感度表示

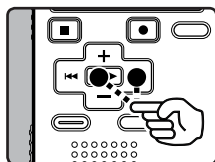
ご注意

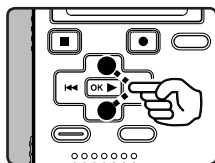
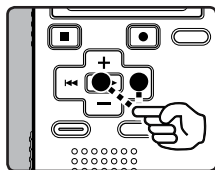
• 話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**マイク感度**］を［**口述**］に設定し、本機の内蔵ステレオマイクを話し手の口に近づけて（5 ～ 10cm）録音してください。

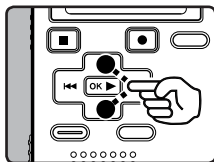
録音モードの設定［Rec Mode］

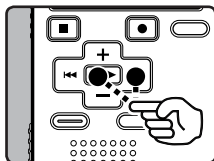
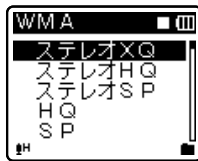
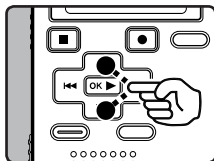
ステレオまたはモノラルの録音方式の他、音質を重視して録音したり録音時間を重視して録音できます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

- モードスイッチを［**レコーダー**］側にしてください。［**ミュージック**］側の場合､操作できません（☞ P.21)。
- メニュー画面に入ります（☞ P.41)。

2 **+** または **−** ボタンを押して、［**録音設定**］タブを選ぶ

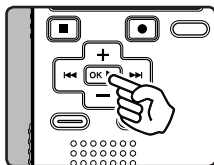
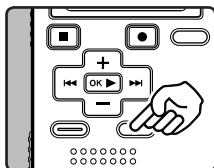
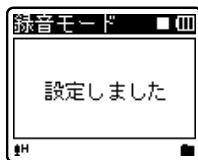
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**録音設定**］画面に入ります。

4 **+** または **−** ボタンを押して、［**録音モード**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**録音モード**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して、録音モードを選ぶ

- ［**PCM**］（V-82 のみ）：音楽 CD などに採用されている非圧縮音声形式です。
- ［**MP3**］（V-82 のみ）：ISO（国際標準化機構）のワーキンググループである MPEG が制定した国際規格です。
- ［**WMA**］：米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

7 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

8 ＋または－ボタンを押して、録音レートを選ぶ

［**PCM**］の場合（V-82 のみ）：
［**44.1 kHz/16 bit**］
［**MP3**］の場合（V-82 のみ）：
［**256 kbps**］［**128 kbps**］
［**WMA**］の場合：
［**ステレオ XQ**］［**ステレオ HQ**］［**ステレオ SP**］
［**HQ**］［**SP**］［**LP**］

- サンプリングレートやビット数、ビットレートは数値が高いほどより高音質な規格になります。
- 高い録音レートに設定した場合、ファイル容量が大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください。

9 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

10 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を終了する

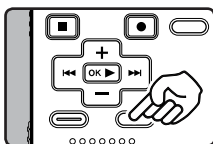
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

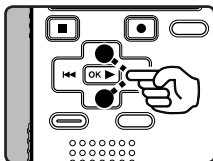
ⓐ録音モード表示

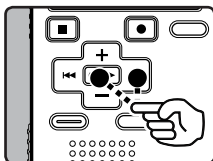
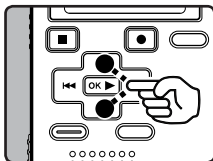
ご注意

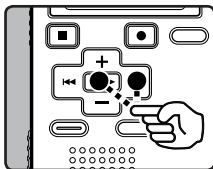
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、［**録音モード**］を［**LP**］以外に設定して録音してください。
- ［**録音モード**］をステレオ録音方式に設定して録音すると、モノラルマイクを接続した場合、L チャンネルのみに音声が録音されます。

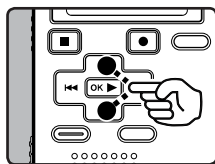
ローカットフィルタの設定［Low Cut Filter］

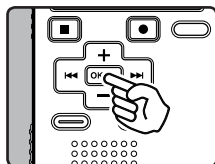
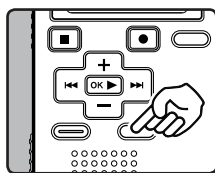
録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。

1 停止中または録音中に**メニュー**ボタンを押す

- モードスイッチを［**レコーダー**］側にしてください。［**ミュージック**］側の場合、操作できません（☞ P.21）。
- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 ＋ または － ボタンを押して、［**録音設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**録音設定**］画面に入ります。

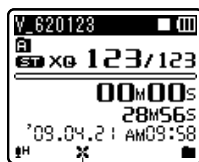
4 ＋ または － ボタンを押して、［**ローカットフィルタ**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**ローカットフィルタ**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して、［ON］または［OFF］を選ぶ

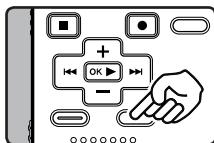
［**ON**］：
ローカットフィルタが機能します。
［**OFF**］：
機能しません。

7 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

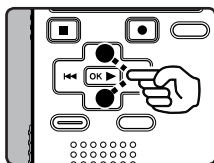
• ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

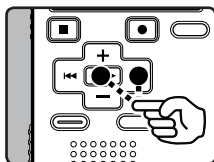
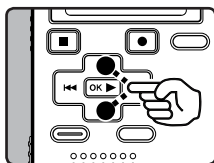
8 メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する

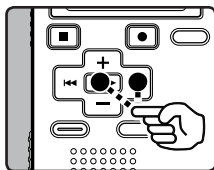
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ ローカットフィルタ表示

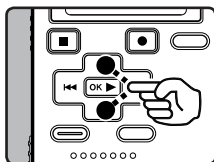
音声起動録音の設定［VCVA］

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。

1 停止中または録音中に**メニュー**ボタンを押す

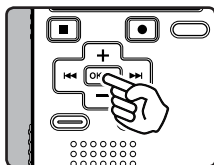
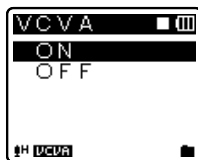
- モードスイッチを［**レコーダー**］側にしてください。［**ミュージック**］側の場合、操作できません（☞ P.21）。
- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **+** または **−** ボタンを押して、［**録音設定**］タブを選ぶ

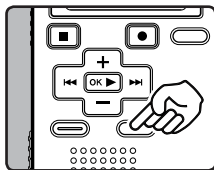
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**録音設定**］画面に入ります。

4 **+** または **−** ボタンを押して、［VCVA］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**VCVA**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して、［ON］または［OFF］を選ぶ

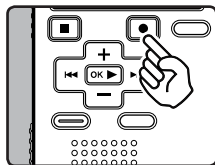
［**ON**］：
VCVA が機能します。VCVA の音声起動レベルは調整できます（☞ P.63）。

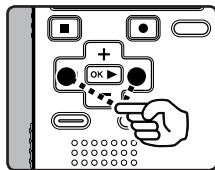
［**OFF**］：
機能しません。通常の録音に戻ります。

7 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

8 メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する

設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ VCVA 表示

音声起動レベルの調整

1 録音（●）ボタンを押して、録音を開始する

- VCVA 録音をする場合、［**VCVA**］を［**ON**］に設定します。
- 設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音がいったん停止します。
  このときディスプレイに［待機中］が点滅します。録音起動中は録音表示ランプが点灯し、いったん停止すると点滅します。

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する

- ディスプレイに VCVA の音声起動レベルを 15 段階（［**01**］～［**15**］）で表示します。

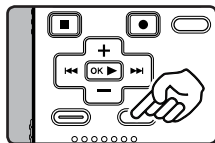
- 数字が大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

ⓐ レベルメータ（録音音量に合わせて変化します）
ⓑ 音声起動レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）

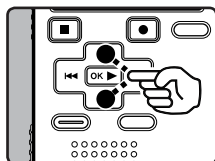
ご注意

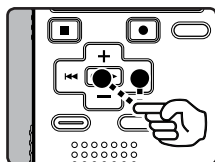
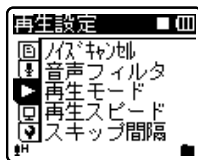
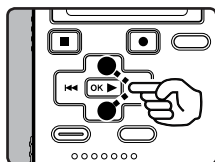
- 音声起動レベルは設定されているマイク感度により異なります（☞ P.54）。
- 音声起動レベルの調整は 2 秒以内に行わないと表示が元に戻ります。
- まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整できます。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。

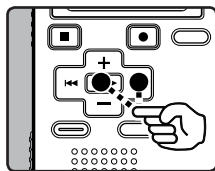
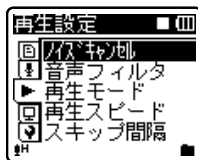
ノイズキャンセルの設定［Noise Cancel］

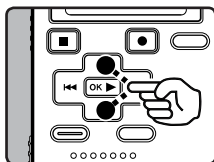
録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。

1 停止中または再生中に**メニュー**ボタンを押す

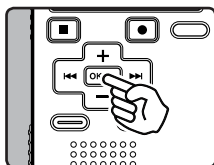
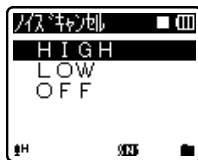
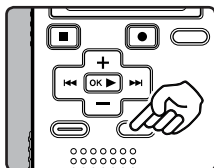
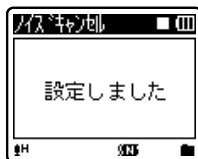
- モードスイッチを［**レコーダー**］側にしてください。［**ミュージック**］側の場合、操作できません（☞ P.21）。
- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 ＋または－ボタンを押して、［**再生設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

再生設定
ノイズキャンセル
音声フィルタ
再生モード
再生スピード
スキップ間隔

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**再生設定**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して、［**ノイズキャンセル**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**ノイズキャンセル**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して、［HIGH］、［LOW］または［OFF］を選ぶ

［**HIGH**］［**LOW**］：
周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。
［**OFF**］：
機能しません。

7 OK ▶ボタンを押して、設定を完了する

- **I◀◀**ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

8 メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する

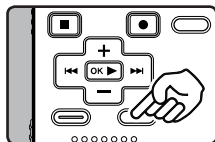
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

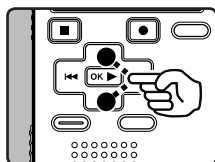
ⓐ ノイズキャンセル表示

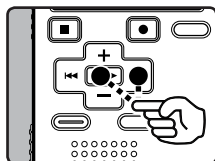
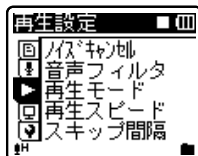
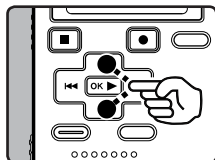
ご注意

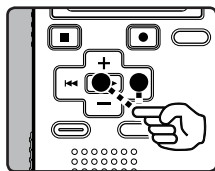
- ［**ノイズキャンセル**］を［**LOW**］または［**HIGH**］に設定したときは、［**音声フィルタ**］および［**再生スピード**］は機能しません。この機能を使用する場合、［**ノイズキャンセル**］を［**OFF**］にしてください（☞ P.66、P.77）。

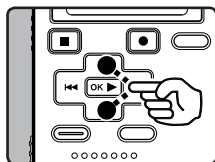
音声フィルタの設定［Voice Filter］

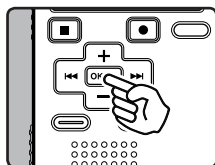
再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。

1 停止中または再生中に**メニュー**ボタンを押す

- モードスイッチを［**レコーダー**］側にしてください。［**ミュージック**］側の場合､操作できません（☞ P.21）。
- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 + または − ボタンを押して、［**再生設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**再生設定**］画面に入ります。

4 + または − ボタンを押して、［**音声フィルタ**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**音声フィルタ**］画面に入ります。

6 **＋または－ボタンを押して、［ON］または［OFF］を選ぶ**

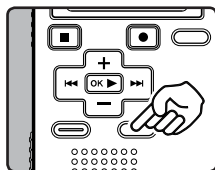
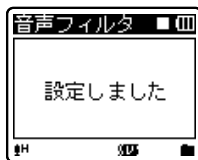
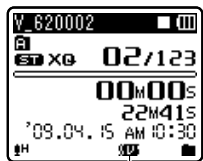
［**ON**］：
音声フィルタが機能します。
［**OFF**］：
機能しません。

7 **OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する**

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

8 **メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する**

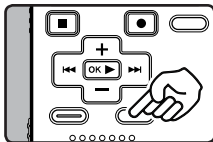
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

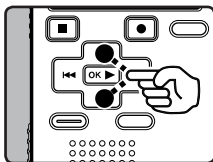
ⓐ音声フィルタ表示

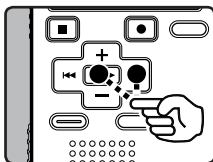
4
音声フィルタの設定

ご注意

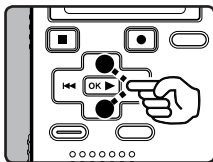
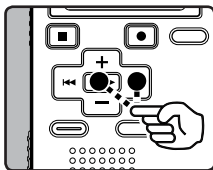
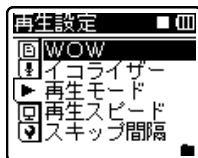
- ［**音声フィルタ**］を［**ON**］に設定したときは、［**ノイズキャンセル**］は機能しません。この機能を使用する場合、［**音声フィルタ**］を［**OFF**］にしてください（☞ P.64）。

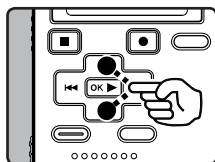
臨場感を高める［WOW］

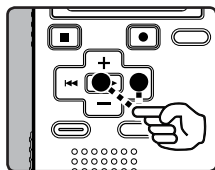
本機は音楽の臨場感を高めるための音響技術である SRS WOW XT を搭載しています。音楽のジャンルやお好みに合わせ、サラウンド効果（SRS 3D）とバス効果（TruBass）をそれぞれ 4 段階にレベル調整できます。

1 停止中または再生中に**メニュー**ボタンを押す

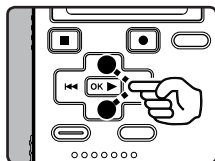
- モードスイッチを［**ミュージック**］側にしてください。［**レコーダー**］側の場合、操作できません（☞ P.21）。
- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **+** または **−** ボタンを押して、［**再生設定**］タブを選ぶ

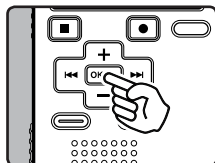
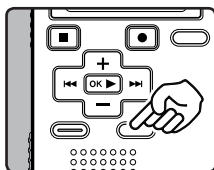
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**再生設定**］画面に入ります。

4 **+** または **−** ボタンを押して、［WOW］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**WOW**］画面に入ります。

6 + または − ボタンを押して、［SRS 3D］または［TruBass］を選ぶ

［**SRS 3D**］を選んだ場合：
サラウンド効果を調整します。
音のひろがり感やクリア感が高まります。
［**TruBass**］を選んだ場合：
低音域の補正を調整します。
低音域をより豊かにできます。

7 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**SRS 3D**］または［**TruBass**］画面に入ります。

8 + または − ボタンを押して、設定を選ぶ

- ［**SRS 3D**］、［**TruBass**］とも4段階で調整できます。

9 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

10 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を終了する

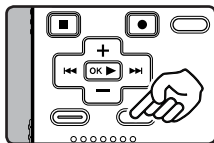
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

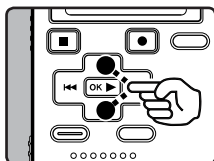
ⓐ SRS WOW XT 表示

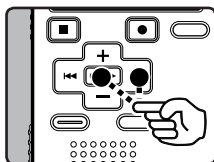
ご注意

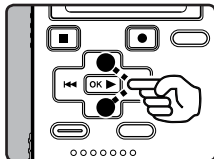
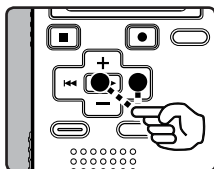
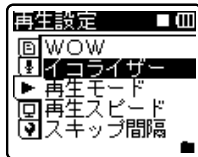
- ビットレートが 32kbps 以下の音楽ファイルでは SRS WOW XT の効果は弱くなります。
- 曲により SRS WOW XT の効果が強調され、ノイズのように聞こえることがあります。その場合、SRS WOW XT の効果を調整してください。
- ［**WOW**］を［**OFF**］以外に設定したときは、遅聞き・早聞き再生できません。この機能を使用する場合、［**WOW**］を［**OFF**］にしてください（☞ P.79）。

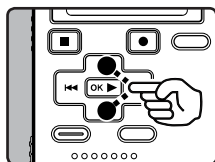
イコライザーの設定［Equalizer］

イコライザーの設定をかえると、お好みの音質で音楽を楽しめます。

1 **停止中または再生中にメニューボタンを押す**

- モードスイッチを［**ミュージック**］側にしてください。［**レコーダー**］側の場合、操作できません（☞ P.21）。
- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **＋または－ボタンを押して、［再生設定］タブを選ぶ**

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 **OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる**

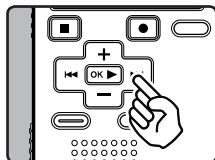
- ［**再生設定**］画面に入ります。

4 **＋または－ボタンを押して、［イコライザー］を選ぶ**

5 **OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す**

- ［**イコライザー**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して、イコライザー特性を選ぶ

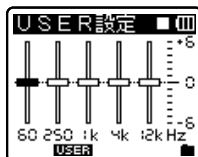
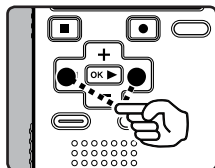
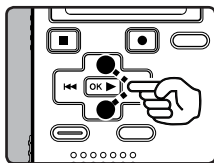
- ［**USER**］を選ぶと、独自にイコライザーの設定を登録できます。

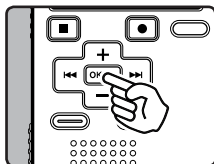
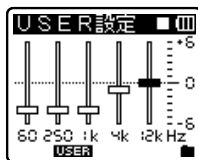
- ［**USER**］を選んだ場合、手順 7 に進んでください。
- ［**USER**］以外のイコライザー特性を選んだ場合、手順 10 に進んでください。

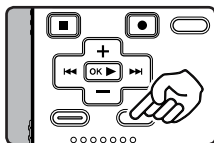
7 ▶▶I ボタンを押す

- ［**USER**］画面に入ります。

8 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して、周波数帯域を選ぶ

- ［**60Hz**］［**250Hz**］［**1kHz**］［**4kHz**］［**12kHz**］の各周波数帯域ごとにレベルを設定できます。

4

イコライザーの設定

9 + または – ボタンを押して、レベルを設定する

- ［– 6］から［+ 6］までを 1 dB 単位で設定できます。
- レベル数を大きくすると、その周波数帯域が強調されます。
- 他の周波数帯域を変更する場合、手順 8 と手順 9 を繰り返してください。

10 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**イコライザー**］画面に戻ります。

11 メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する

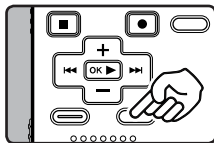
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

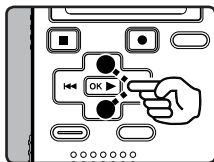
ⓐ イコライザー表示

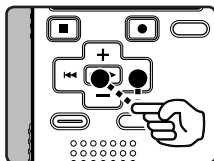
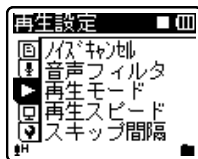
4

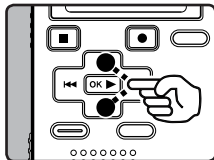
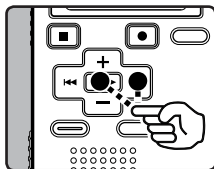
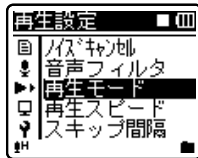
イコライザーの設定

再生モードを選ぶ［Play Mode］

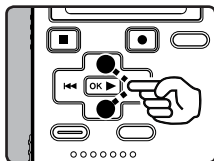
お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。

1 停止中または再生中に**メニュー**ボタンを押す

- モードスイッチの位置により、操作できる再生モードは異なります。
- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **+** または **−** ボタンを押して、［**再生設定**］タブを選ぶ

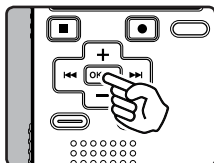
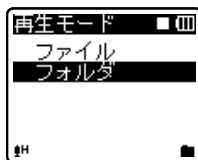
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

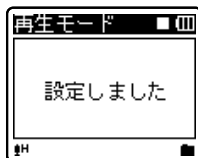
- ［**再生設定**］画面に入ります。

4 **+** または **−** ボタンを押して、［**再生モード**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

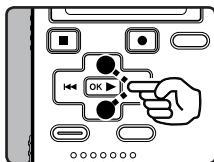
- ［**再生モード**］画面に入ります。
- モードスイッチが［**ミュージック**］側の場合、手順 8 の操作に進みます。

モードスイッチが［レコーダー］側の場合：

6 **＋または－ボタンを押して、設定したい再生モードを選ぶ**

［**ファイル**］：
現在のファイルを再生後に停止。

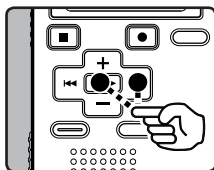
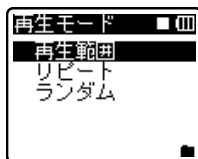
［**フォルダ**］：
現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止。

7 **OK ▶ボタンを押して、設定を完了する**

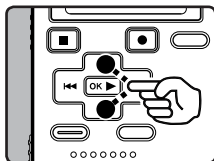
- ⏮ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

- モードスイッチが［**レコーダー**］側の場合、手順 12 の操作に進みます。

モードスイッチが［ミュージック］側の場合：

8 **＋または－ボタンを押して、［再生範囲］、［リピート］または［ランダム］を選ぶ**

［**再生範囲**］：
ファイル再生の範囲を指定します。

［**リピート**］：
リピート再生の設定をする場合に選びます。

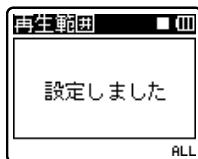
［**ランダム**］：
ランダム再生の設定をする場合に選びます。

9 **OK ▶または ⏭ボタンを押す**

- ［**再生範囲**］、［**リピート**］または［**ランダム**］画面に入ります。

10 ＋ または － ボタンを押して、設定を選ぶ

［再生範囲］を選んだ場合：
［**ファイル**］［**フォルダ**］［**全ファイル**］：
ファイル再生の範囲を指定します。

［リピート］または［ランダム］を選んだ場合：
［**ON**］：
再生範囲をリピート再生またはランダム再生します。
［**OFF**］：
リピート再生およびランダム再生を解除します。

11 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

- 他の設定を変更する場合、手順 8 から手順 11 を繰り返してください。
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

12 メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する

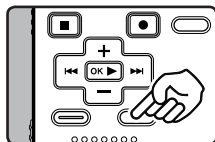
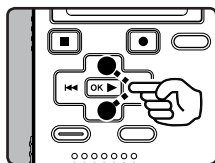
設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 再生モード表示

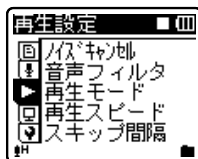
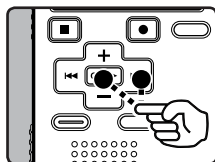
ご注意

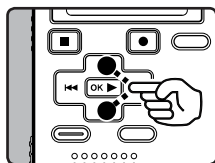
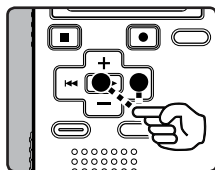
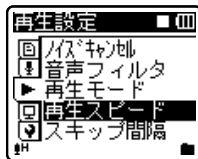
- ［**ファイル**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- ［**フォルダ**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。
- ［**全ファイル**］に設定すると、フォルダ内の最終ファイルを再生後、次のフォルダの先頭ファイルから再生を開始します。本機内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、本機内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

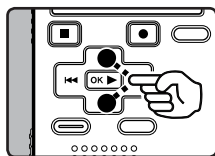
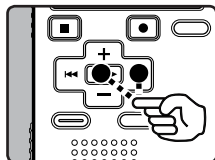
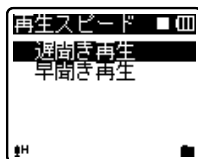
再生スピードの設定［Play Speed］

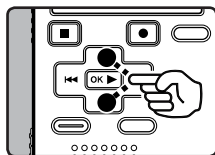
再生スピードを 0.5 倍速から 2 倍速の間で変更できます。会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。デジタル処理により、音程をかえずに音声を自動調整するため、違和感なく聞き取れます。

1 停止中または再生中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **＋**または**－**ボタンを押して、［**再生設定**］タブを選ぶ

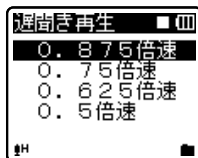
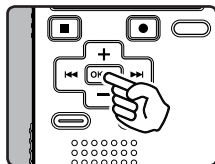
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 **OK ▶**または**▶▶I**ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**再生設定**］画面に入ります。

4 **＋**または**－**ボタンを押して、［**再生スピード**］を選ぶ

5 **OK ▶**または**▶▶I**ボタンを押す

- ［**再生スピード**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して、［遅聞き再生］または［早聞き再生］を選ぶ

7 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

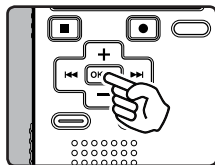
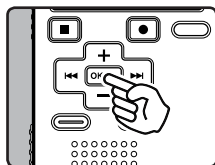
- ［**遅聞き再生**］または［**早聞き再生**］画面に入ります。

8 ＋または－ボタンを押して、設定を選ぶ

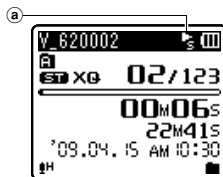
- 遅聞き・早聞き再生時のスピードをそれぞれ設定できます。

［**遅聞き再生**］を選んだ場合:
　［**0.875 倍速**］［**0.75 倍速**］［**0.625 倍速**］［**0.5 倍速**］

［**早聞き再生**］を選んだ場合：
　［**2.0 倍速**］［**1.5 倍速**］［**1.375 倍速**］［**1.25 倍速**］［**1.125 倍速**］

9 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

- 他の設定を変更する場合、手順６から手順９を繰り返してください。
- I◀◀ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

10 メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する

遅聞き・早聞き再生のしかた

1 OK ▶ ボタンを押して、再生を開始する

2 OK ▶ ボタンを押して、再生スピードを切り替える

- **OK ▶** ボタンを押すたびに再生スピードが切り替わります。

通常再生：普通の再生スピードです。
遅聞き再生：再生スピードが遅くなり、ディスプレイの［ ］が点灯します。
早聞き再生：再生スピードが早くなり、ディスプレイの［ ］が点灯します。

ⓐ 再生スピード表示

- 再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次回の再生では変更した早さで再生を行います。

再生スピードの 2 倍速における制限事項について

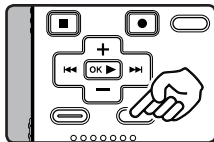
再生ファイルのサンプリング周波数やビットレートによっては、2 倍速での早聞き再生ができないことがあります。この場合、1.5 倍速までの早聞き再生となります。

ご注意

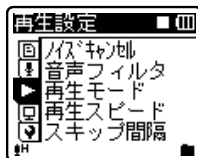
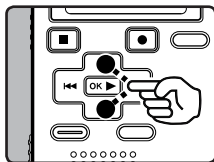
- 早聞き・遅聞き再生時でも、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックス・テンプマーク（☞ P.35）の挿入などの操作ができます。
- ［**音声フィルタ**］または［**イコライザー**］が設定されていても、早聞き・遅聞き再生は使用できます（☞ P.66、P.71）。
- ［**ノイズキャンセル**］または［**WOW**］のどちらかが機能している場合、早聞き・遅聞き再生はできません（☞ P.64、P.68）。
- モードスイッチを切り替えると、設定した再生スピードは通常に戻ります。

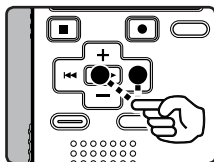
スキップ間隔の設定［Skip Space］

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

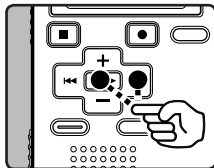
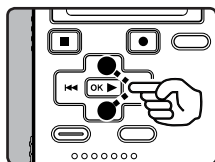
1 停止中または再生中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **+** または **−** ボタンを押して、［**再生設定**］タブを選ぶ

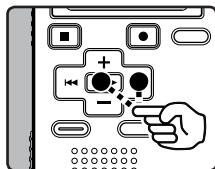
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

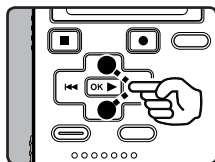
- ［**再生設定**］画面に入ります。

4 **+** または **−** ボタンを押して、［**スキップ間隔**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

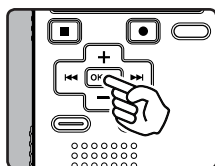
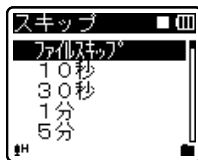
- ［**スキップ間隔**］画面に入ります。

6 **+ または − ボタンを押して、［スキップ］または［逆スキップ］を選ぶ**

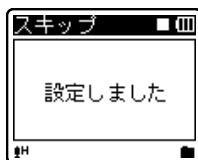
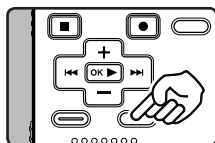
［**スキップ**］：
設定した間隔分だけ送って再生を開始します。

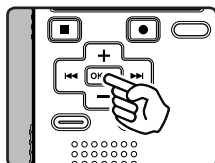
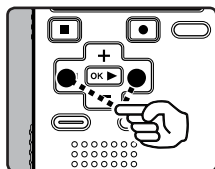
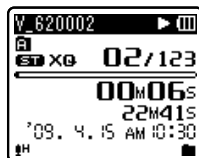
［**逆スキップ**］：
設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

7 OK ▶ **または ▶▶I ボタンを押す**

- ［**スキップ**］または［**逆スキップ**］画面に入ります。

8 **+ または − ボタンを押して、設定を選ぶ**

［**スキップ**］を選んだ場合：
［**ファイルスキップ**］
［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］
［**5 分**］［**10 分**］

［**逆スキップ**］を選んだ場合：
［**ファイルスキップ**］
［**1 秒**］～［**5 秒**］［**10 秒**］
［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］
［**10 分**］

9 OK ▶ **ボタンを押して、設定を完了する**

- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

10 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を終了する

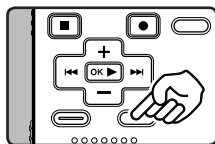
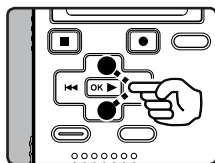
スキップ・逆スキップ再生のしかた

1 OK ▶ ボタンを押して、再生を開始する

2 再生中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押す

- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

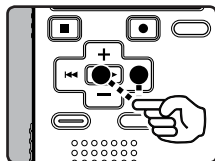
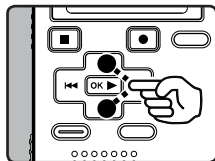
ご注意

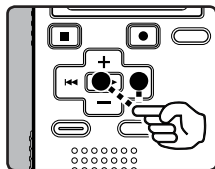
- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

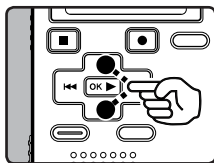
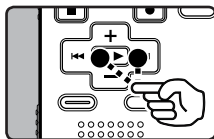
バックライトの設定［Backlight］

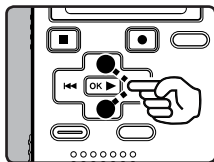
ボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約 10 秒間（初期設定）点灯するので、暗いところでも表示が確認できて便利です。

1 録音中、再生中または停止中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **+** または **−** ボタンを押して、［**表示／音設定**］タブを選ぶ

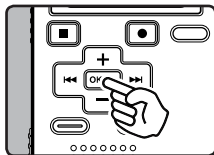
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**表示／音設定**］画面に入ります。

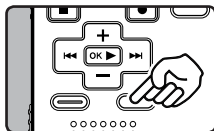
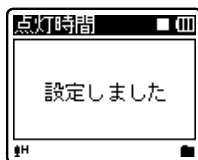
4 **+** または **−** ボタンを押して、［**バックライト**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**バックライト**］画面に入ります。

6 **+ または − ボタンを押して、［点灯時間］または［輝度設定］を選ぶ**

7 **OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す**

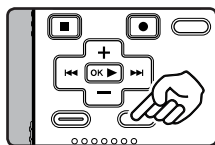
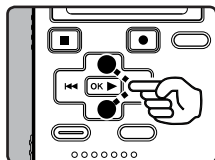
- ［**点灯時間**］または［**輝度設定**］画面に入ります。

8 **+ または − ボタンを押して、設定を選ぶ**

［**点灯時間**］を選んだ場合：
［**OFF**］：
バックライトは点灯しません。
［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］：
バックライトの点灯時間を設定します。

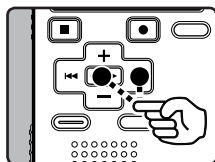
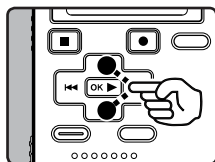
［**輝度設定**］を選んだ場合：
［**HIGH**］：
バックライトが明るく点灯します。
［**LOW**］：
バックライトが通常の明るさで点灯します。

9 **OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する**

- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

10 **メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する**

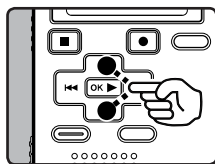
ディスプレイのコントラストの設定［Contrast］

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

• メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

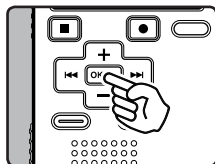
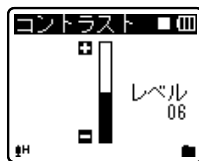
2 + または − ボタンを押して、［**表示／音設定**］タブを選ぶ

• 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

• ［**表示／音設定**］画面に入ります。

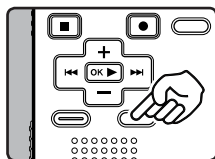
4 + または − ボタンを押して、［**コントラスト**］を選ぶ

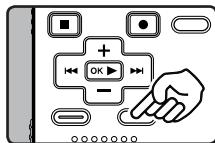
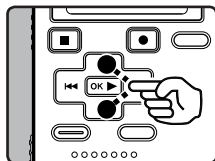
5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

• ［**コントラスト**］画面に入ります。

6 **+** または **–** ボタンを押して、レベルを調整する

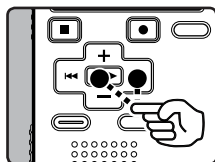
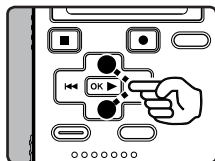
- ［**01**］から［**12**］の間で調整を行います。

7 **OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する**

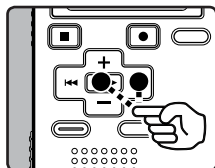
- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

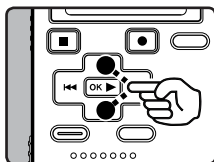
8 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を終了する

LED の設定［LED］

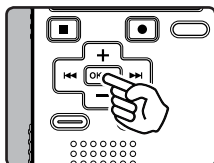
LED 表示ランプを点灯しないように設定できます。

1 録音中、再生中または停止中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

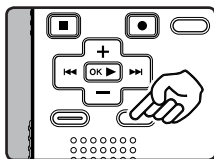
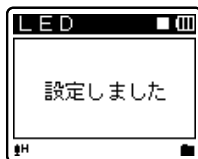
2 **+** または **−** ボタンを押して、［**表示／音設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 **OK ►** または **►►I** ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**表示／音設定**］画面に入ります。

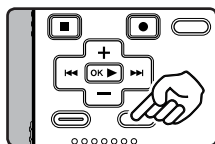
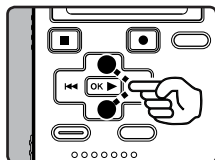
4 **+** または **−** ボタンを押して、［LED］を選ぶ

5 **OK ►** または **►►I** ボタンを押す

- ［**LED**］画面に入ります。

6 + または – ボタンを押して、設定を変更する

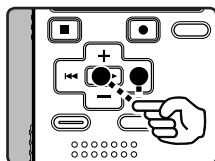
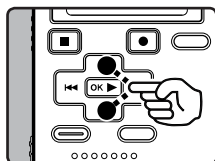
［**ON**］：
LED が点灯します。
［**OFF**］：
LED は点灯しません。

7 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

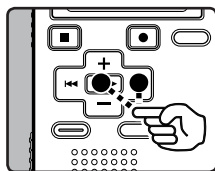
- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

8 メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する

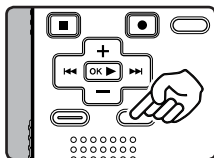
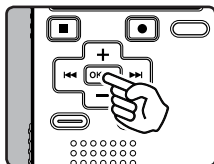
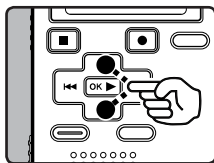
ビープ音の設定［Beep］

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **+** または **–** ボタンを押して、［**表示/音設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**表示 / 音設定**］画面に入ります。

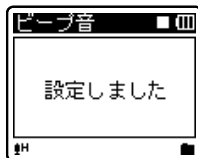
4 **+** または **–** ボタンを押して、［**ビープ音**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**ビープ音**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して、設定を変更する

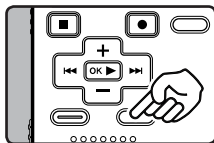
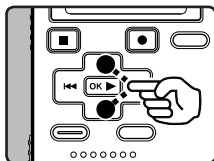
［**ON**］：
ビープ音が機能します。

［**OFF**］：
機能しません。

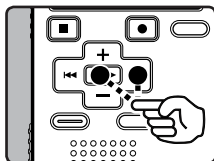
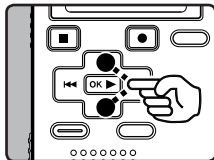
7 OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する

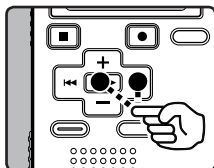
- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

8 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を終了する

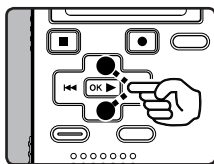
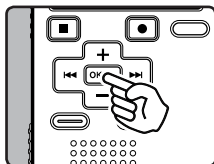
言語の設定［Language(Lang)］

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **+** または **−** ボタンを押して、［**表示／音設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**表示／音設定**］画面に入ります。

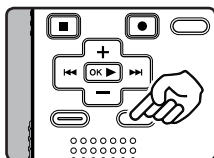
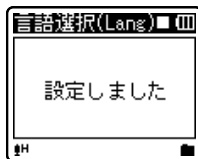
4 **+** または **−** ボタンを押して、［**言語選択(Lang)**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**言語選択（Lang)**］画面に入ります。

6 **+ または − ボタンを押して、設定を変更する**

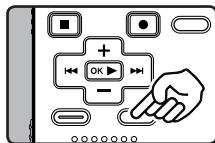
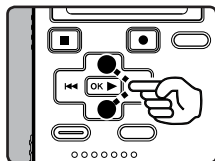
7 **OK ▶ ボタンを押して、設定を完了する**

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

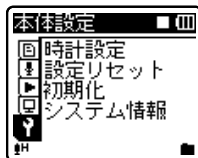
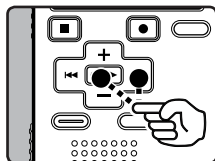
8 **メニューボタンを押して、メニュー画面を終了する**

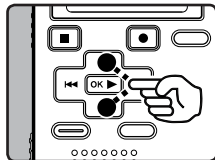
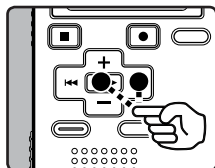
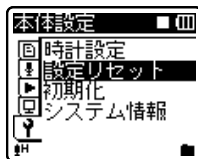
ご注意

- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語はかわりません。

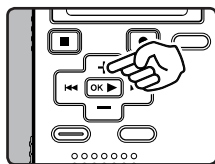
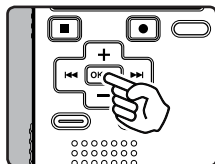
設定をリセットする［Reset Settings］

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 **+** または **−** ボタンを押して、［**本体設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**本体設定**］画面に入ります。

4 **+** または **−** ボタンを押して、［**設定リセット**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**設定リセット**］画面に入ります。

6 **+** ボタンを押して、**［開始］**を選ぶ

7 **OK ▶** ボタンを押して、設定を完了する

- 各種設定が初期値に戻ります（☞ P.95）。

8 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を終了する

設定リセット後のメニュー設定（初期設定）

録音設定

メニュー項目	初期設定
［マイク感度］（☞ P.54）	**［会議］**
［録音モード］（☞ P.56）	**［ステレオ XQ］**
［ローカット フィルタ］（☞ P.59）	**［OFF］**
［VCVA］（☞ P.61）	**［OFF］**

再生設定

メニュー項目	初期設定
［ノイズ キャンセル］（☞ P.64）	**［OFF］**
［音声フィルタ］（☞ P.66）	**［OFF］**
［WOW］（☞ P.68）	**［OFF］**
［イコライザー］（☞ P.71）	**［OFF］**
［再生モード］（☞ P.74）	**［レコーダー］**モード：**［ファイル］**
	［ミュージック］モード: 再生範囲 **［フォルダ］** リピート再生 **［OFF］** ランダム再生 **［OFF］**
［再生スピード］（☞ P.77）	遅聞き再生 **［0.75 倍速］** 早聞き再生 **［1.5 倍速］**
［スキップ間隔］（☞ P.80）	スキップ再生 **［ファイルスキップ］** 逆スキップ再生 **［ファイルスキップ］**

表示 / 音設定

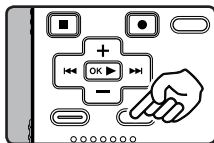
メニュー項目	初期設定
［バックライト］（☞ P.83）	点灯時間 **［10 秒］** 輝度設定 **［LOW］**
［コントラスト］（☞ P.85）	**［06］**
［LED］（☞ P.87）	**［ON］**
［ビープ音］（☞ P.89）	**［ON］**
［言語選択］（☞ P.91）	**［日本語］**

ご注意

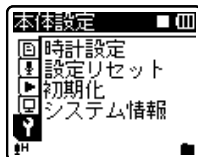
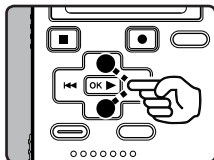
- 設定リセット後の時計設定やファイル番号については、初期設定には戻らず設定リセット前の設定を保持します。

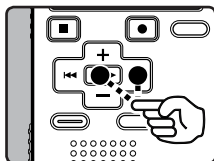
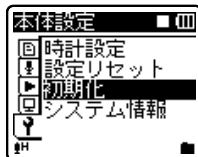
初期化する［Format］

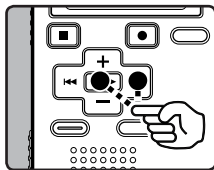
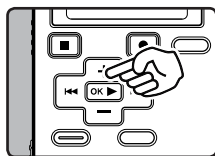
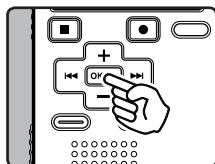
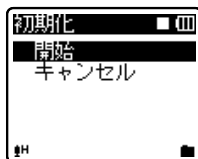
初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

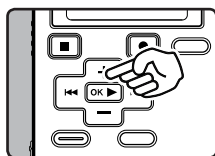
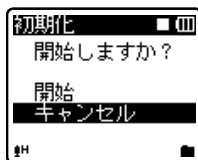
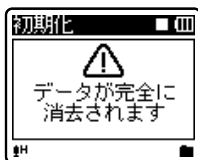
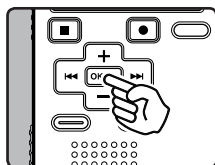
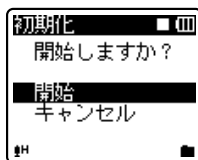
1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

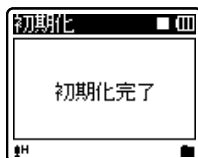
2 ＋または－ボタンを押して、［**本体設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

- ［**本体設定**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して、［**初期化**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

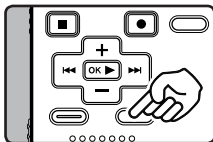
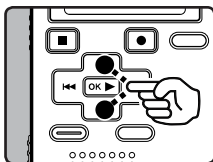
- ［**初期化**］画面に入ります。

6 **+** ボタンを押して、**［開始］**を選ぶ

7 OK ▶ ボタンを押す

- ［**データが完全に消去されます**］が２秒間表示され、［**開始**］、［**キャンセル**］が点灯します。

8 **+** ボタンを押して、もう一度**［開始］**を選ぶ

9 OK ▶ ボタンを押す

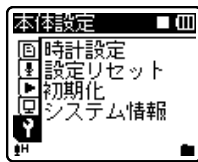
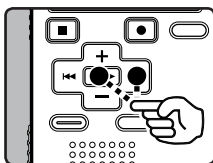
- ［**初期化中**］が表示され、初期化が開始されます。
- ［**初期化完了**］が点滅したら初期化終了です。

ご注意

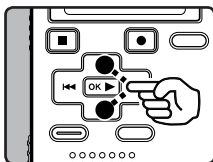
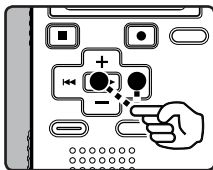
- 処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
  また、処理中に電池が切れることのないように、あらかじめ新しい電池に交換してください。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 一度初期化をすると、DRM付き音楽ファイルを再び本機へ転送できなくなる場合があります。
- 初期化をすると、消去ロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が［**0001**］からとなる場合があります。
- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［**設定リセット**］を操作してください（☞ P.93）。

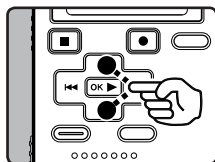
システム情報を見る［System Info.］

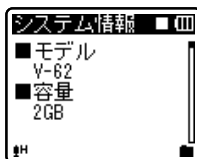
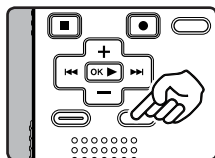
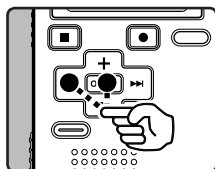
メニュー画面から本機の情報を確認できます。

1 停止中に**メニュー**ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.41）。

2 + または – ボタンを押して、［**本体設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる

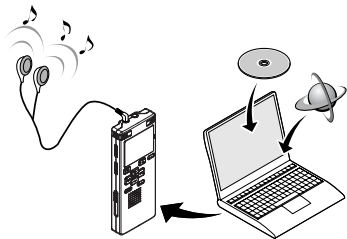
- ［**本体設定**］画面に入ります。

4 + または – ボタンを押して、［**システム情報**］を選ぶ

5 OK ▶ または ▶▶I ボタンを押す

- ［**システム情報**］画面に入ります。

7 **+** または **–** ボタンを押して、画面を切り替える

- ［**モデル名**］［**容量**］［**バージョン**］［**シリアル番号**］が表示されます。

8 情報を確認したら OK ▶ または ⏮ ボタンを押して、［**システム情報**］画面から出る

9 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を終了する

本機をパソコンでお使いいただくためには

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- Windows Media Player または iTunes を使用して、本機で録音した音声をパソコンに転送して再生したり、管理できます (☞ P.106、P.113)。
- 本機は WMA 形式、MP3 形式、WAV 形式の語学コンテンツに対応しています。
- IC レコーダー、ミュージックプレーヤーとしての使いかたの他、本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます (☞ P.105、P.117)。

パソコンの動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）:
Microsoft Windows 2000/XP/Vista/7
標準インストール（日本語版）

対応パソコン :
1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Windows 対応パソコン

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）:
Mac OS X 10.2.8 ～ 10.6
標準インストール（日本語版）

対応パソコン :
1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Apple Macintosh シリーズ

ご注意

- 本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。
- 動作環境を満たしていても、OS をアップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコン、NEC PC-98 シリーズとその互換機については動作保証外とさせていただいています。

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず ☞ P.104 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の［**初期化**］画面から行ってください（☞ P.96）。
- ［エクスプローラ］などのファイル管理ツールを使用して、本機の内蔵フラッシュメモリ内の音声録音用フォルダ、音楽再生用フォルダおよび各フォルダ内の管理用ファイルに対して、消去、移動または名前の変更などの操作は絶対に行わないでください。ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなる恐れがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを外してください。

著作権と著作権保護機能 (DRM) について

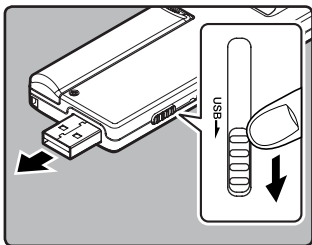
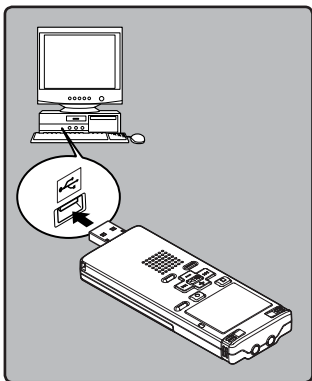
著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音声や音楽ファイル、音楽 CD などの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的とした WAV、WMA や MP3 ファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。
WMA ファイルには著作権の保護を目的とした DRM（Digital Right Management）が施されている場合があります。DRM が施されているファイルは音楽 CD から変換（リッピング）した音楽ファイルや音楽配信によって入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。 DRM の施された WMA ファイルを本機に転送するには Windows Media Player を用いるなど所定の方法で転送する必要があります。また、音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。

ご注意

- 本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

パソコンに接続する

1 パソコンを起動する

2 USB 端子スライドレバーを矢印の方向へスライドさせ、本機の USB 端子を本体から引き出す

3 パソコンの USB ポートまたは USB ハブに接続する

Windows：
［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
Macintosh：
Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

- USB 接続中は、本機のディスプレイに［**PC と接続中です**］と表示されます。

ご注意

- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- 必要に応じ、付属の USB 延長ケーブルをご使用ください。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 延長ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用した場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの［ ］をクリックし、**［USB大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します］**をクリックする

- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。

2 ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら［**OK**］をクリックする

3 本機をパソコンから取り外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動する

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

2 本機をパソコンから取り外す

ご注意

- 録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

ファイルをパソコンに取り込む

音声録音用の 5 つのフォルダは、パソコン上でそれぞれ［**DSS_FLDA**］、［**DSS_FLDB**］、［**DSS_FLDC**］、［**DSS_FLDD**］、［**DSS_FLDE**］という名前で表示され、その中に録音した音声ファイルが保存されています。パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。

Windows

1 本機をパソコンに接続する (☞ P.103)

2 エクスプローラを起動する

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます（ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります）。

3 製品名のフォルダをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す (☞ P.104)

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する (☞ P.103)

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

2 デスクトップの製品名のアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す (☞ P.104)

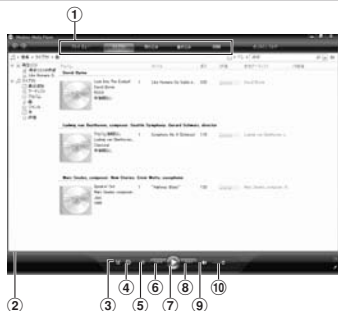
ご注意

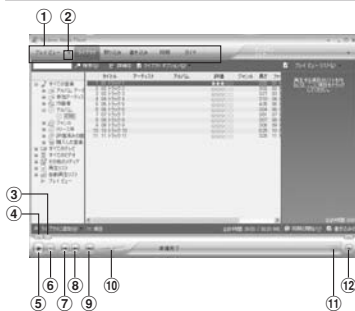
- データ通信中は［**データ送信中**］または［**データ受信中**］と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- Mac OS の標準環境では、WMA 形式のファイルは再生できません。

Windows Media Player を使う

音楽CDやインターネットからパソコンに取り込んだ音楽ファイルを本機に転送して再生できます。本機は WAV、MP3、WMA形式の音楽ファイルに対応しています。
Windows Media Player を用いると、音楽CDから音楽ファイルを変換（リッピング）したり（☞ P.107）、音楽配信サイトで購入した音楽ファイルを簡単に本機に転送できます（☞ P.108、P.111）。

ウィンドウのなまえ

Windows Media Player 11

① 機能タスクバー
② 位置スライダ
③ ランダム再生ボタン
④ 連続再生ボタン
⑤ 停止ボタン
⑥ 前へボタン
⑦ 再生ボタン
⑧ 次へボタン
⑨ ミュートボタン
⑩ 音量スライダ

Windows Media Player 10

① 機能タスクバー
② クイックアクセスパネルボタン
③ 位置スライダ
④ 巻き戻しボタン
⑤ 再生ボタン
⑥ 停止ボタン
⑦ 前へボタン
⑧ 次へボタン
⑨ ミュートボタン
⑩ 音量スライダ
⑪ ランダム再生 / 連続再生ボタン
⑫ 早送りボタン

ご注意

- Windows 2000 をご使用の場合、あらかじめ Windows Media Player をインストールする必要があります。

CD から音楽をコピーする

1 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

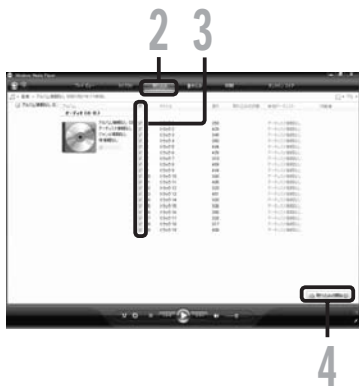
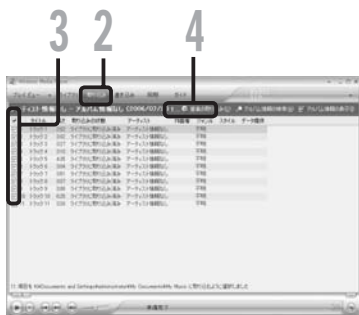
2 機能タスクバーから［**取り込み**］メニューをクリックする

- Windows Media Player 10 の場合、［**取り込み**］メニューをクリックしてから、必要に応じて［**アルバム情報の表示**］をクリックしてください。
- インターネットに接続できる場合、CD の情報検索します。

3 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける

4 ［**取り込みの開始**］をクリックする

- Windows Media Player 10 の場合、［**音楽の取り込み**］をクリックします。
- パソコンにコピーされたファイルは WMA 形式で保存されます。コピーされた音楽ファイルはアーティスト、アルバム、ジャンルなどに分類されてプレイリストに追加されます。

Windows Media Player 11

Windows Media Player 10

音楽ファイルを本機に転送する

パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CD からパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は［**CD から音楽をコピーする**］をご覧ください（☞ P.107）。

Windows Media Player 11

1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**同期**］メニューをクリックする

3 再度［**同期**］メニューをクリックし、[DVR] ➔［**詳細オプション**］➔［**同期の設定**］と選び、以下の設定を行う

- ［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］にチェックを入れます。 **＊1 ＊2**
- アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

＊1 フォルダが自動作成されないことがあるので、［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］に初期状態でチェックが入っている場合、いったんチェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

＊2 本機への同期転送後、WMPInfo.xml という名前のファイルが作成されますが、このファイルを消去すると、再度＊1 の設定が必要になる場合があります。

4 左側の［**ライブラリ**］からお好みのカテゴリーを選び、本機に転送したい曲、またはアルバムを選んだら、右側の［**同期リスト**］にドラッグ＆ドロップする

5 ［**同期の開始**］をクリックする

- ファイルが本機に転送されます。

Windows Media Player 10

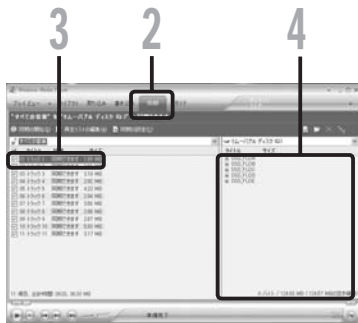
1 本機をパソコンに接続し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［**同期**］メニューをクリックする

3 左側のプルダウンメニューから本機に転送するプレイリストを選び、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける

- 表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ＆ドロップすると曲順を変更できます。

4 右側のプルダウンメニューから本機に対応するドライブを選ぶ

- 通常本機はリムーバブルディスクとして認識されます。

5 右上の［ ］をクリックして、同期オプションを設定する

- ［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］にチェックを入れます。***1 *2**
- アーティスト名やアルバム名のフォルダが自動的に作成されますので、聴きたいファイルなどの検索がしやすくなり、便利です。

***1** フォルダが自動作成されないことがあるので、［**デバイスにフォルダ階層を作成する**］に初期状態でチェックが入っている場合、いったんチェックを外してから再度チェックを入れ直してください。

***2** 本機への同期転送後、WMPInfo.xml という名前のファイルが作成されますが、このファイルを消去すると、再度 ***1** の設定が必要になる場合があります。

6 ［同期の開始］をクリックする

- ファイルが本機に転送されます。本機に転送された音楽ファイルはデバイス上の項目に表示されます。

ご注意

- 音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。
- 詳細は各 Windows Media Player のオンラインヘルプをご覧ください。
- Windows Media Playe 9 を使用しての転送方法は、弊社 Web サイトでご確認ください。
  http://olympus-imaging.jp/
- 音楽ファイルをメモリ容量いっぱいまで転送すると、本機のディスプレイに［**管理ファイルが作成できません　PC に接続して不要なファイルを消去して下さい**］と表示される場合があります。この場合、ファイルを消去して管理ファイルの空き容量（数百 KB ～数十 MB) を確保してください（管理ファイルの容量は音楽ファイルの数が増えるほど、多く必要になります)。

ファイルを CD にコピーする

本機で録音した音声ファイルなどをパソコンに転送し、CD にコピーできます。本機からパソコンに音声ファイルをコピーする方法は［**ファイルをパソコンに取り込む**］をご覧ください（☞ P.105）。

Windows Media Player 11

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

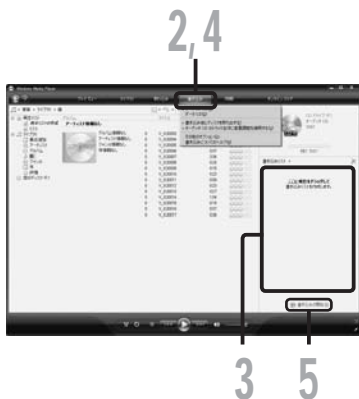
2 機能タスクバーから［**書き込み**］メニューをクリックする

3 左側の［**ライブラリ**］から お好みのカテゴリーを選び、CD-R/RW にコピーしたい曲、またはアルバムを選んだら、右側の［**書き込みリスト**］にドラッグ＆ドロップする

4 再度［**書き込み**］メニューをクリックし、［**オーディオ CD**］か［**データ CD**］を選ぶ

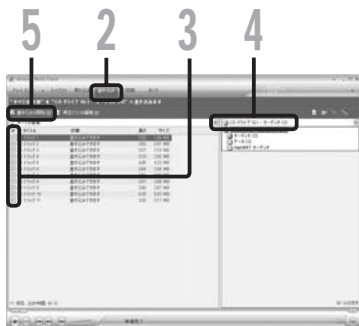
［オーディオ CD］を選んだ場合：
CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

［データ CD］を選んだ場合：
録音したときのファイル形式でコピーします。

5 ［**書き込みの開始**］をクリックする

Windows Media Player 10

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、Windows Media Player を起動する

2 機能タスクバーから［書き込み］メニューをクリックする

- ［**書き込み**］メニューをクリックしてから、必要に応じて［**再生リストの編集**］をクリックしてください。
- ファイルをドラッグ＆ドロップすると、曲順を変更できます。

3 コピーしたいファイルにチェックをつける

4 ［書き込みの開始］をクリックする前に、CD 形式を選ぶ

［オーディオ CD］を選んだ場合：
CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

［データ CD］を選んだ場合：
録音したときのファイル形式でコピーします。

5 ［書き込みの開始］をクリックする

ご注意

- 音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、CD-R/RW へのコピーに制限がある場合があります。
- 詳細は各 Windows Media Player のオンラインヘルプをご覧ください。

iTunes を使う

ウィンドウのなまえ

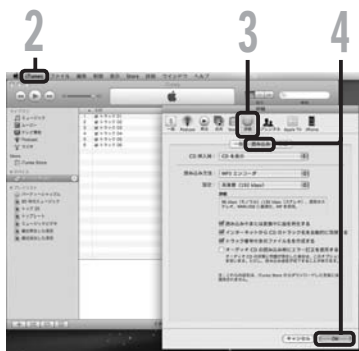
①機能タスクバー
②巻き戻しボタン／再生・一時停止ボタン／
早送りボタン
③音量スライダ
④プレイリスト追加ボタン
⑤ランダム再生ボタン
⑥連続再生ボタン
⑦表示切替ボタン
⑧ディスク作成ボタン
⑨ブラウズボタン
⑩ディスク取り出しボタン

CD から音楽をコピーする

1 CD を CD-ROM ドライブに挿入し、iTunes を起動する

2 [iTunes] ➔ [環境設定] をクリックする

3 [詳細] タグをクリックする

4 [読み込み] をクリックし、パソコンにコピーするときのファイル形式やビットレートを設定したら [OK] をクリックする

- 本機は MP3、WAV 形式の音楽ファイルに対応しています (☞ P.34)。

[読み込み方法]：
- CD の曲を読み込むときのファイル形式を設定します。

[設定]：
- CD の曲を読み込むときのビットレートを設定します。

5 コピーしたい音楽ファイルにチェックをつける

6 [読み込み] をクリックする

音楽ファイルを本機に転送する

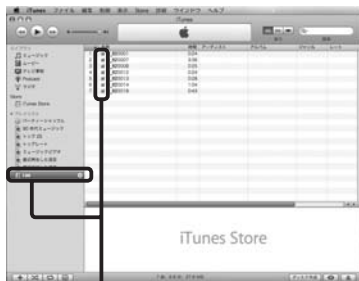
パソコンに保存した音楽ファイルを本機に転送できます。CD からパソコンに音楽ファイルをコピーする方法は［**CD から音楽をコピーする**］をご覧ください (☞ P.114)。

1 本機をパソコンに接続し、iTunes を起動する

2 本機に転送するプレイリストを選び、本機に転送したい音楽ファイルにチェックをつける

- 表示されるプレイリストの音楽ファイルをドラッグ＆ドロップすると曲順を変更できます。

3 本機に対応するドライブをダブルクリックし、［Music］フォルダを開く

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- 音楽ファイルを転送する場合、本機の［**Music**］フォルダにコピーをしてください。
- ［**Music**］フォルダには、最大 2 階層まで階層を作成できます。また、［**Music**］を含めて最大 128 フォルダまで作成できます。
- 各フォルダに最大で 200 件ずつのファイルを収納できます。

4 本機に転送したいファイルを選び、［Music］フォルダにドラッグ＆ドロップする

ファイルを CD にコピーする

本機で録音した音声ファイルなどをパソコンに転送し、CD にコピーできます。本機からパソコンに音声ファイルをコピーする方法は［**ファイルをパソコンに取り込む**］をご覧ください（☞ P.105）。

1 空の CD-R/RW を CD-R/RW ドライブに挿入し、iTunes を起動する

2 ［iTunes］➔［**環境設定**］をクリックする

3 ［**詳細**］タグをクリックする

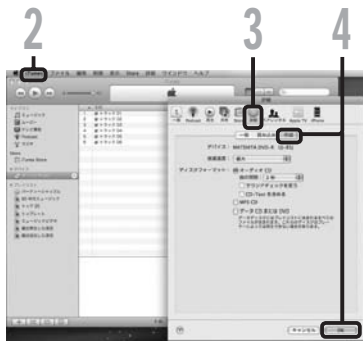
4 ［**作成**］をクリックし、CD-R/RW にコピーするときのディスク形式を設定したら［OK］をクリックする

［オーディオ CD］を選んだ場合：
- CD-R 再生に対応したオーディオ機器等でご使用になれるように、ファイルを音楽 CD に変換してコピーします。

［MP3 CD］を選んだ場合：
- MP3 形式でコピーします。

［データ CD］を選んだ場合：
- 録音したときのファイル形式でコピーします。

5 CD-R/RW にコピーするプレイリストを選択し、転送したい音楽ファイルにチェックをつける

6 ［**ディスク作成**］をクリックする

パソコンの外部メモリとして使う

IC レコーダー、ミュージックプレーヤーとしての使いかたの他、本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます。
本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.103)

2 エクスプローラを起動する

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます（ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります）。

3 製品名のフォルダをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.104)

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.103)

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名認識されます。

2 デスクトップの製品名のアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.104)

ご注意

- データ通信中は［**データ送信中**］または［**データ受信中**］と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery Low)	電池残量がない。	新しい電池に交換してください (☞ P.13)。
消去ロック中！ 消去できません (File Protected)	消去ロックがかかっているファイルを消去しようとした。	消去ロックを解除してください (☞ P.46)。
ミュージックモードです (Music Mode)	モードスイッチが［**ミュージック**］側になっている。	録音する場合、モードスイッチを［**レコーダー**］側にする (☞ P.21)。
これ以上記録できません (インデックスマークをつけるとき) (Index Mark Full)	ファイル内でインデックスマークを最大数（16）まで使用している。	必要のないインデックスマークを消去してください (☞ P.35)。
これ以上記録できません (テンプマークをつけるとき) (Temp Mark Full)	ファイル内でテンプマークを最大数（16）まで使用している。	必要のないテンプマークを消去してください (☞ P.35)。
ファイル件数がいっぱいです (Folder Full)	フォルダ内のファイル件数が最大数（200）になっている。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.39)。
メモリに異常があります (Memory Error)	メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください (☞ P.125)。
不正コピーされたファイルです (License Mismatch)	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください (☞ P.39)。
メモリがいっぱいです (Memory Full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.39)。
ファイルがありません (No File)	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください (☞P.22 ～ P.24)。
初期化に失敗しました (Format Error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください (☞ P.96)。
管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイルを消去して下さい (Can’t Make The System File.Connect To PC And Delete Unnecessary File)	メモリ残量がないため、管理用のファイルが作成できない。	パソコンに接続して、不要なファイルを消去してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ と ⊖ を確かめてください（☞ P.13）。
	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.13、P.14）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.16）。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.13、P.14）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.16）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P.17）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.39）。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.22 ～ P.25）。
再生音が聞こえない	イヤホンが接続されている。	内蔵スピーカでの再生時はイヤホンを取り外してください。
	音量が［**00**］になっている。	ボリュームを調節してください（☞ P.31）。
録音のレベルが小さい	マイク感度が低い。	マイク感度を［**会議**］にしてもう一度録音してください（☞ P.54）。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルがステレオ録音されてない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。
	［**録音モード**］がモノラル録音形式である。	［**録音モード**］をステレオ形式から選ぶ（☞ P.56）。

症状	考えられる原因	対処方法
音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	他のフォルダを選び直してください(☞ P.22 ～ P.25)。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	――――――
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
ファイルが消去できない	消去ロックがかかっている。	消去ロックを解除してください(☞ P.46)。
	読み取り専用ファイルである。	消去ロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないファイルがある。	パソコンに接続してフォルダを消去してください（☞ P.103)。
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングをおこしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこす恐れがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になることをおすすめします。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けないなど調整をしてください。
インデックスマーク・テンプマークがつけられない	マーク件数が最大（16 件）になっている。	必要のないマークは消去してください (☞ P.35)。
	消去ロックがかかっている。	消去ロックを解除してください(☞ P.46)。
	読み取り専用ファイルである。	消去ロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。

アクセサリー（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、弊社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

ステレオマイクロホン：ME51SW

大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W

モノラルマイクロホン ME30 2 本と小型三脚、接続アダプタのセットです。プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W

周囲の雑音の影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15

タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

テレホンピックアップ：TP7

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

単 4 形ニッケル水素充電池／充電器セット：BC400

ニッケル水素充電器 BU-400 と、単 4 形ニッケル水素充電池 BR401 の 4 本組セットです。オリンパス製の単 3、単 4 形ニッケル水素充電池を急速充電できます。

単 4 形ニッケル水素充電池：BR401

持続性に優れた高性能充電池です。

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（φ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（φ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

ユーティリティーソフト：Olympus Sonority Plus

Voice Treck で録音した音声をパソコン上で再生したり、ファイル管理することができます。またポッドキャスティングにも対応しています。

用語の説明

用語	意味
インデックスマーク	音声ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
音楽ファイル	CD やインターネット上から取り込んだ WMA (Windows Media Audio)、MP3 (MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3) 形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
音声ファイル	本機で録音した用件のことを音声ファイルと呼びます。
サンプリングレート	1秒間あたりに処理できるデータの記録回数のことです。記録回数が多いほど周波数が高くなり、一般的には音質が良くなります。音楽用 CD では 44.1kHz で処理されています。
消去ロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態を指します。
テンプマーク	本機以外で作成されたファイル中に一時的に付けられる頭出し信号のことです。
ビットレート	1 秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示すこの数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量が大きくなります。
フォーマット	初期化とも言います。
フォルダ	ファイルを分類して録音するための保管場所 (入れ物) です。
ボイストレック	オリンパス製 IC レコーダーの総称です。
メモリ	内蔵フラッシュメモリのことを指します。
録音モード	録音の用途に合わせて選択可能な録音方式のことです。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
BEEP (ビープ) 音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。

主な仕様

一般事項

■記録形式：

リニア PCM（Pulse Code Modulation）形式（V-82 のみ）
MP3(MPEG-1 Audio Layer3)形式(V-82 のみ)
WMA (Windows Media Audio）形式

■規定入力レベル：

－70 dBv

■サンプリング周波数：

リニア PCM 形式 (V-82 のみ)
［**44.1 kHz/16 bit**］：44.1 kHz
MP3 形式 (V-82 のみ)
［**256 kbps**］：44.1 kHz
［**128 kbps**］：44.1 kHz
WMA 形式
［**ステレオ XQ**］：44.1 kHz
［**ステレオ HQ**］：44.1 kHz
［**ステレオ SP**］：22 kHz
［**HQ**］：44.1 kHz
［**SP**］：22 kHz
［**LP**］：8 kHz

■周波数特性：

マイクジャック録音時
リニア PCM 形式 (V-82 のみ)
［**44.1 kHz/16 bit**］：50 Hz ～ 21 kHz
MP3 形式 (V-82 のみ)
［**256 kbps**］：50 Hz ～ 20 kHz
［**128 kbps**］：50 Hz ～ 17 kHz
WMA 形式
［**ステレオ XQ**］：50 Hz ～ 19 kHz
［**ステレオ HQ**］：50 Hz ～ 15 kHz
［**ステレオ SP**］：50 Hz ～ 9 kHz
［**HQ**］：50 Hz ～ 13 kHz
［**SP**］：50 Hz ～ 7 kHz
［**LP**］：50 Hz ～ 3 kHz

内蔵ステレオマイク録音時
80 Hz ～ 20 kHz (但し、MP3 形式または WMA 形式で録音する場合、周波数特性の上限値は各録音モードによる)
再生時
20 Hz ～ 20 kHz

■ヘッドホン最大出力：

5 mW ＋ 5 mW (22 Ω負荷時)

■記録媒体：

内蔵型 NAND FLASH メモリ
V-82: 8 GB ／ V-72: 4 GB ／ V-62: 2 GB

■スピーカ：

ϕ 16 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■マイクジャック：

ϕ 3.5 mm インピーダンス 2 kΩ

■イヤホンジャック：

ϕ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■スピーカ実用最大出力：

60 mW (スピーカ 8 Ω)

■電源：

規定電圧：1.5 V
電　　池：単 4 形乾電池 1 本 (LR) またはオリンパス製ニッケル水素充電池 1 本

■外形寸法：

94.8 mm × 38 mm × 11 mm
(最大突起部含まず)

■質量：

46 g (電池含む)

■使用温度：

0 ～ 42℃

■同梱品：

本体／単 4 形ニッケル水素充電池× 1 ／ USB 延長ケーブル／キャリングケース／イヤホン／取扱説明書 (保証書付) ／ CD-ROM (V-82 のみ)

録音時間（めやす）

■V-82: 内蔵フラッシュメモリ (8 GB)

リニア PCM 形式	
［**44.1 kHz/16 bit**］	約 12 時間 50 分
MP3 形式	
［**256 kbps**］	約 71 時間
［**128 kbps**］	約 142 時間
WMA 形式	
［**ステレオ XQ**］	約 139 時間

［ステレオ HQ］	約 278 時間
［ステレオ SP］	約 556 時間
［HQ］	約 556 時間
［SP］	約 1,090 時間
［LP］	約 2,170 時間

■**V-72:** 内蔵フラッシュメモリ (4 GB)

WMA 形式

［ステレオ XQ］	約 69 時間
［ステレオ HQ］	約 139 時間
［ステレオ SP］	約 278 時間
［HQ］	約 278 時間
［SP］	約 547 時間
［LP］	約 1,088 時間

■**V-62:** 内蔵フラッシュメモリ (2 GB)

WMA 形式

［ステレオ XQ］	約 34 時間
［ステレオ HQ］	約 69 時間
［ステレオ SP］	約 139 時間
［HQ］	約 139 時間
［SP］	約 274 時間
［LP］	約 544 時間

ご注意

- 上記の値はあくまでめやすです。
- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。
- 1 ファイルあたりの最大容量は、WMA 形式、MP3 形式は約 4GB に制限されています。

- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は下記の値に制限されています。

1 ファイルあたりの最長録音時間	
［44.1 kHz/16 bit］*	約 3 時間 20 分
［256 kbps］*	約 37 時間 10 分
［128 kbps］*	約 74 時間 30 分
［ステレオ XQ］	約 26 時間 40 分
［ステレオ HQ］	約 26 時間 40 分
［ステレオ SP］	約 53 時間 40 分
［HQ］	約 26 時間 40 分
［SP］	約 53 時間 40 分
［LP］	約 148 時間 40 分

* V-82 のみ

リニア PCM 形式で 2GB を超えての録音について

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を継続します。

- ファイルは 2GB 毎に分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 2GB を超えて録音した時は、フォルダ内のファイル件数が 200 件を超える場合があります。201 件目以降のファイルは本機では認識しませんので、パソコンと接続して確認してください。

電池持続時間（めやす）

■**録音時：**

録音モード	内蔵ステレオマイク録音時	
	アルカリ乾電池	ニッケル水素充電池
［44.1 kHz/16 bit］	約 14 時間	約 14 時間

6 主な仕様

[128 kbps]	約14時間30分	約14時間30分
[ステレオ XQ]	約15時間30分	約15時間30分
[LP]	約21時間	約21時間

■**音声ファイル再生時（全再生モード）：**

録音モード	スピーカ再生時	
	アルカリ乾電池	ニッケル水素充電池
[44.1 kHz/16 bit]	約10時間	約10時間
[128 kbps]	約12時間	約12時間
[ステレオ XQ]	約12時間	約12時間
[LP]	約12時間	約12時間

録音モード	イヤホン再生時	
	アルカリ乾電池	ニッケル水素充電池
[44.1 kHz/16 bit]	約19時間30分	約17時間30分
[128 kbps]	約25時間	約21時間
[ステレオ XQ]	約26時間	約22時間
[LP]	約26時間	約22時間

ご注意

- 上記の値はあくまでめやすです。
- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きく変ります。

記録可能な曲数（めやす）

V-82 (8GB)	約2,000曲
V-72 (4 GB)	約1,000曲
V-62 (2 GB)	約500曲

128 kbps、1曲4分換算

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

お買い上げいただきました製品を安心してご愛用いただくために、当社では、次のアフターサービス体制をとっております。 ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。http://olympus-imaging.jp/ の［ユーザー登録］をご利用ください。

- **オリンパスホームページ**
  http://www.olympus.co.jp で関連製品の技術情報を提供しております。

- **製品に関するお問い合わせは**
  オリンパスカスタマーサポートセンター

  フリーダイヤル
  Tel ： 0120 – 084215
  携帯電話・PHS：042 – 642 – 7499
  Fax：042 – 642 – 7486

※カスタマーサポートセンター・修理センターおよびサービスステーションの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページの［お客様サポート］をご確認ください。

- **修理に関するお問い合わせは**
  お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。なお、保証期間経過後の修理は有料となります。保証期間中でも運賃などの諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品をお送りいただく場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

索引

記号

アルファベット

D

I

L

M

O

P

S

T

U

W

かな

い

お

か

け

こ

さ

し

す

せ

<保証規定>

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって､この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   - イ．ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   - ロ．お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   - ハ．火災･異常電圧･地震･水害･落雷･公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   - ニ．本書のご提示がない場合。
   - ホ．本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - へ．電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>

本書は日本国内においてのみ有効です。（THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)

販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から１年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	１年	無料	
品名	ボイストレック	型名	**V-82/V-72/V-62**
シリアルNo.		お買い上げ日	年　月　日
販売店名	無効		

J1-BS0252-03　AP0911